MOBOTIX

スタートマニュアル

※ 最初にお読み下さい。
※ 本書は、付属の「**Camera Manual Part 1**」を参照にしております。
詳しくは、そちらをお読み下さい。

MOBOTIX JAPAN

www.kjfellow.com/mobotix/ • mobotix@kjfellow.com • 2006/10/06

目次

1）.開封後、まずご確認下さい。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

1．製品の確認 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
M12 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
SecureFlex Wall Mount ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
D12 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
D12 Outdoor Wall Mount ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
M22 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
2．保証書の確認 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

2）.カメラ取付・設置方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

1．M12D-Secure ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
SecureFlex Mount の設置オプション ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
壁面取付けマウントから天井取付けマウントへ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
カメラ設置位置の確定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
Ethenet ケーブルの接続 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
フェライトの取り付け ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
スパイダープロテクション（蜘蛛侵入防止） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
Ethenet ケーブル以外のケーブルの接続 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
ISDN ポートの使用不可 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
最終設置 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
2．D12Di-FixDome ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
設置オプション ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
設置前準備 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
Ethernet ケーブルの接続方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
カメラ設置位置の確定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
カメラの組み立て（詳細方法） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
3．D12 Outdoor Wall Mount ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
設置オプション ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
カメラ設置位置の確定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
最終設置 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
4．M22M-Secure ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
設置オプション ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
壁面取付けマウントから天井取付けマウントへ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
カメラ設置位置の確定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
Ethenet ケーブルの接続 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
最終設置 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
5．配線・防火・落雷・サージ対策 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27

3）.カメラの初期設定方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29

1．ＰＣ側で準備すること ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
2．カメラの接続方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
M12 の接続方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
D12 の接続方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
M22 の接続方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
3．カメラの初期設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
クイックインストレーション ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
ユーザー名とパスワード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
4．ネットワークへの接続 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39

4）.IPアドレスを忘れたとき ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39

1．カメラの IP アドレス発声機能 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
2．カメラのリセット ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39

5）.注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40

1．IP アドレス設定時の注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
2．パスワード管理上の注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
3．ソフトウェアアップデート更新時の注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
システムアップデートの設定方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41

6）.その他 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40

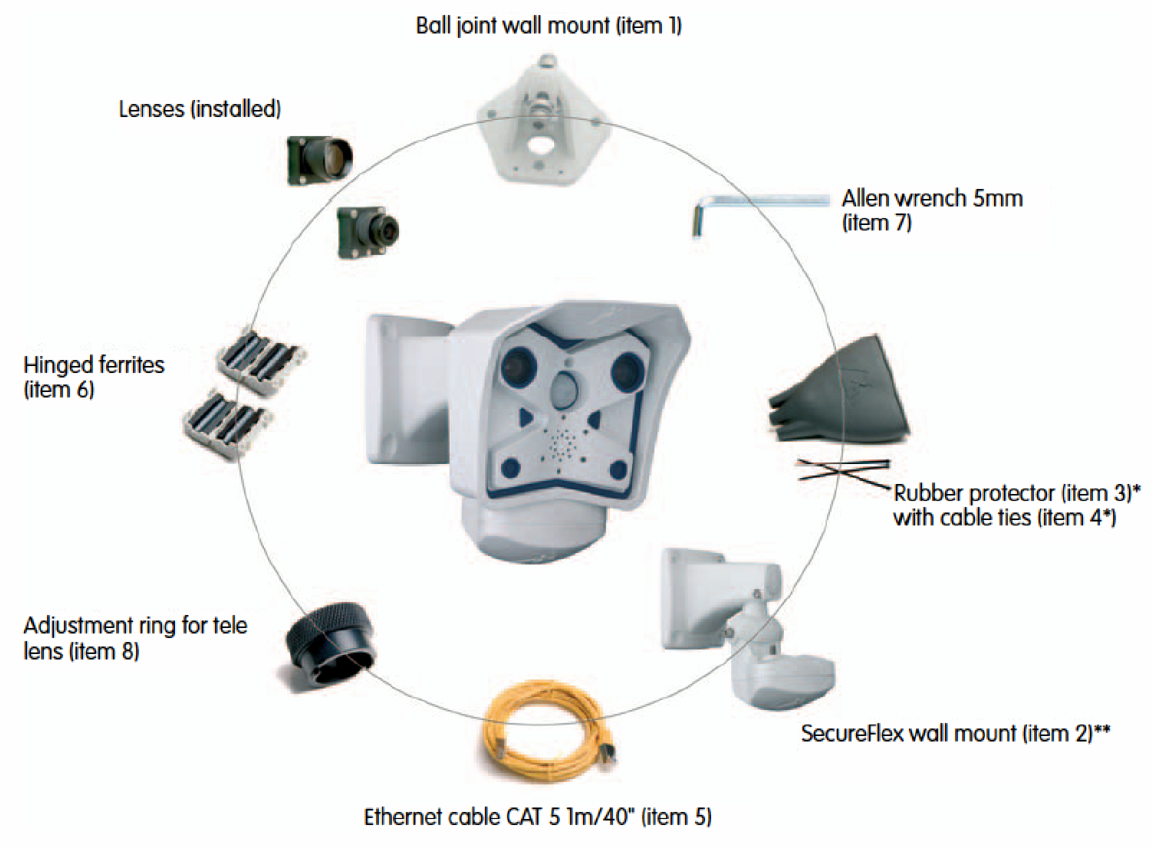
1．取扱説明書「Software Camera Manual」 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43
2．MxViewer ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43

1）.開封後、まずご確認下さい。

1．製品の確認

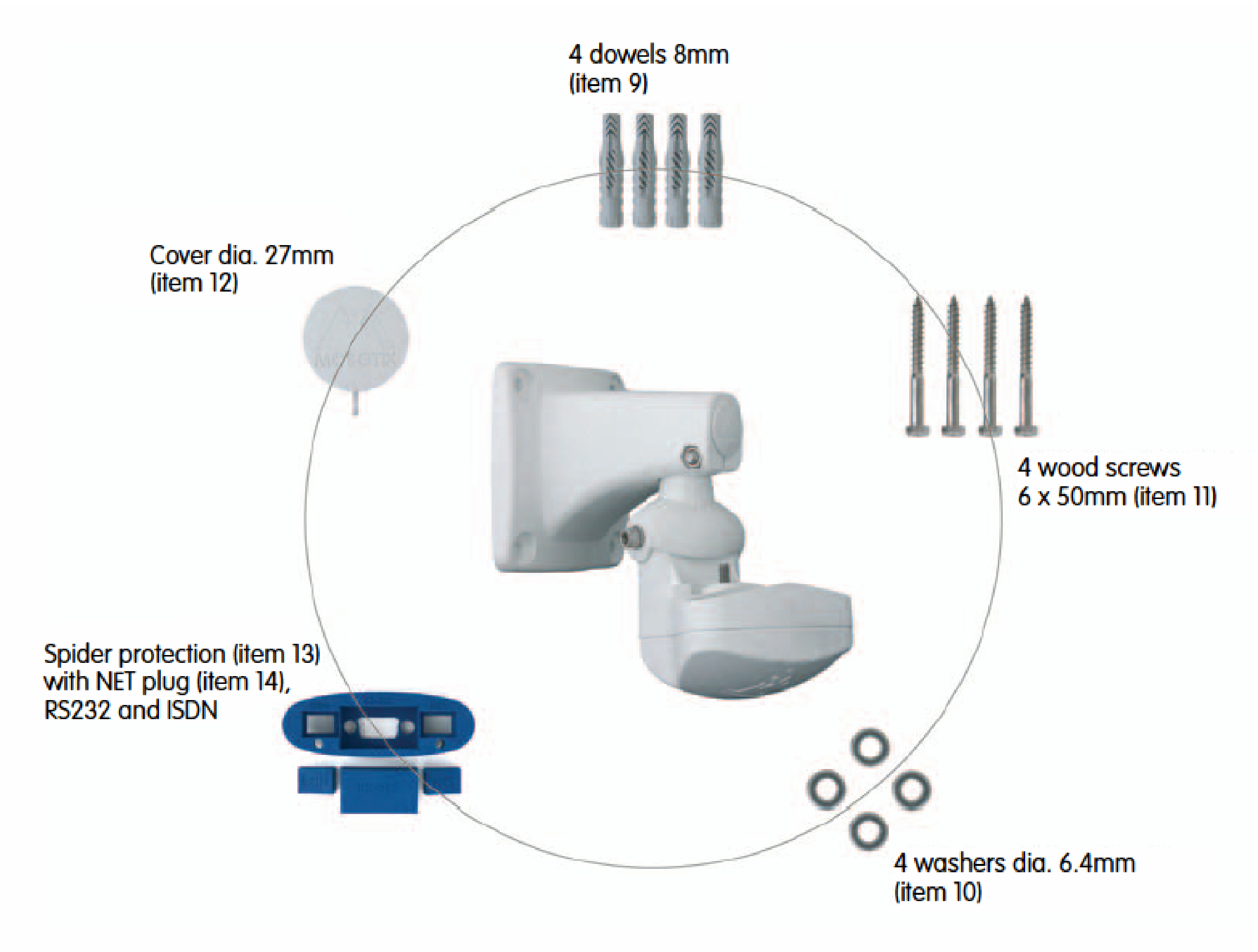
M12

・カメラ
・ボールジョイント付ウォールマウント(ball joint mount)　＊Basic/IT モデルのみ
・壁/天井取り付け用セキュアフレックスマウント (Secure Flex Mount)
・ゴムプロテクター(Rubber cable protector)　＊Basic/IT モデルのみ
・イーサーネットケーブル(Ethernet cable)
・フェライト(Hinged ferrite)
・六角レンチ (Allen wrench)
・ケーブルタイ(Cable ties)　＊Basic/IT モデルのみ
・ピント調節リング(Adjustment ring for tele lens)　＊望遠レンズタイプのみ



SecureFlex Mount

・合わせくぎ (dowel 8mm)
・ステンレス製ワッシャー(Stainless steel washer 6.4mm)
・ステンレス製六角頭ねじ (Stainless steel wood screw with hex head 6 x 50mm)
・カバー (cover 27mm)
・スパイダープロテクション(Spider Protection)

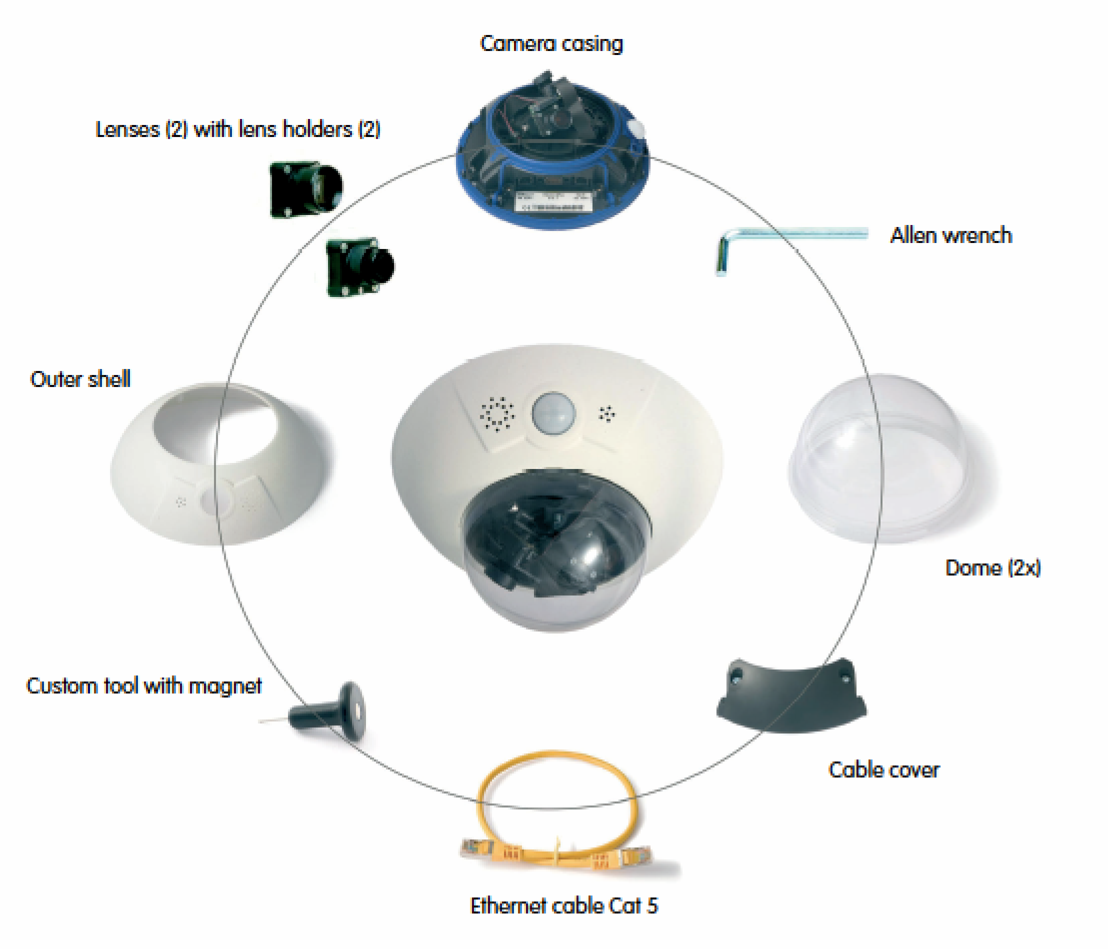


注意

マウントを取り付け字に、絶対に皿頭のねじを使用しないで下さい。
マウントを破壊してしまう恐れがございます。

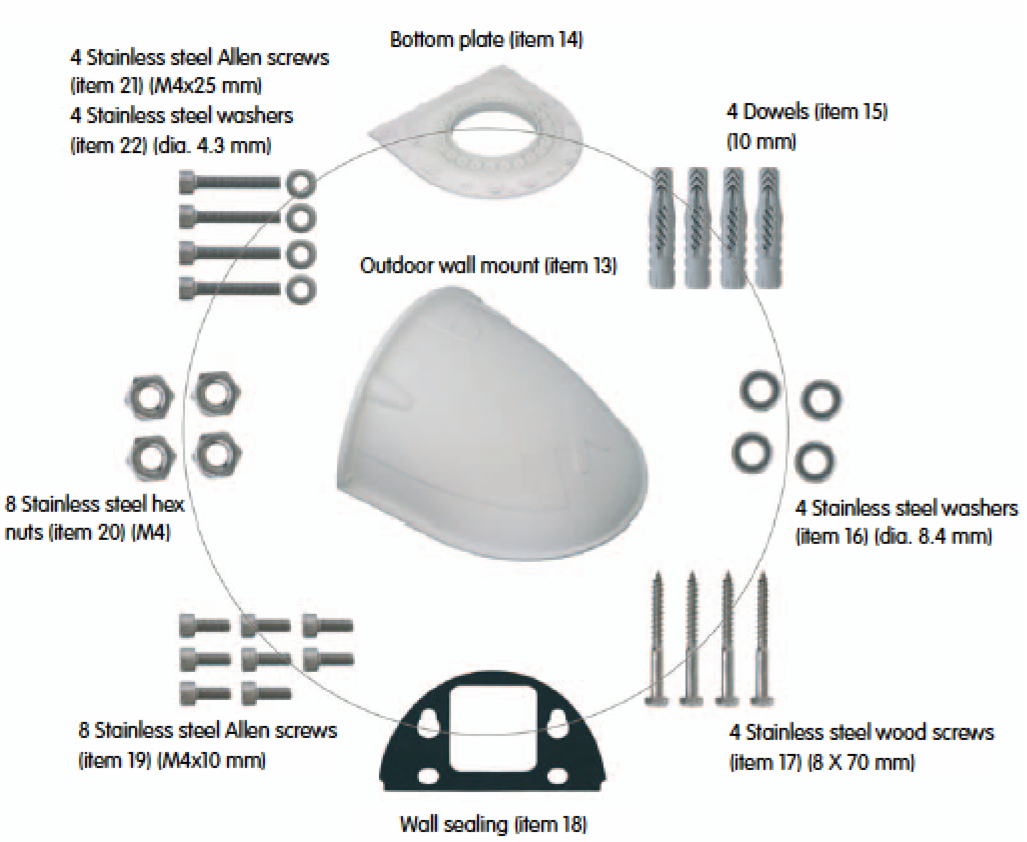
D12

- カメラ
- 透明/半透明 ドームカバー (Tinted/transparent domes)
- ケーブルカバー (Cable cover)
- アウターシェル(Outer shell)
- イーサーネットケーブル (Ethernet cable)
- 六角レンチ (Allen wrench)
- 磁石付カスタムツール(Custom tool with magnet)
- レンズ(Lens)
- レンズマウント(Lens mount)
- ロックリング(Lock ring)
- リボンケーブル (Ribbon cable)
- リボンケーブル留め具 (Cable clamp)



D12 Outdoor Wall Mount

・屋外ウォールマウント (Outdoor wall mount)
・ボトムプレート (Bottom plate)
・合わせくぎ(Dowel 10mm)
・ステンレス製ワッシャー(Stainless steel washer dia. 8.4mm)
・ステンレス製六角頭ねじ (Stainless steel wood screw with hex head 8 x 70mm)
・ウォールシーリング (wall sealing)
・ステンレス製アレンスクリュー (Stainless steel Allen screw M4 x 10mm)
・ステンレス製六角ナット (Stainless steel hex nut M4)
・ステンレス製アレンスクリュー (Stainless steel Allen screw M4 x 25mm)
・ステンレス製ワッシャー (Stainless steel washer dia. 4.3mm)



M22

・カメラ
・レンズ (Lens)
・レンズカバーとその予備 (Lens cover , replacement lens cover)
・六角レンチ (Allen Wrench)
・イーサーネットケーブル (Ethernet cable)
・ゴムプラグ　イーサーネット/USB/未使用時用 (Rubber plug for Ethernet , USB , unused connector)
・合わせくぎ (dowel 8mm)
・ステンレス製ワッシャー(Stainless steel washer 27mm)
・ステンレス製六角頭ねじ (Stainless steel wood screw with hex head 6 x 50mm)
・スクリューキャップ (Caps for covering screws 27mm)
・フェライト (Hinged ferrite)

2. 保証書の確認

保証書にお客様の情報 (お名前、ご住所等) を記載し、大切に保管してください。保証書を失くされた場合は、保証の対象外となります。

メモ

2）.カメラ取付･設置方法

1．M12D-Secure

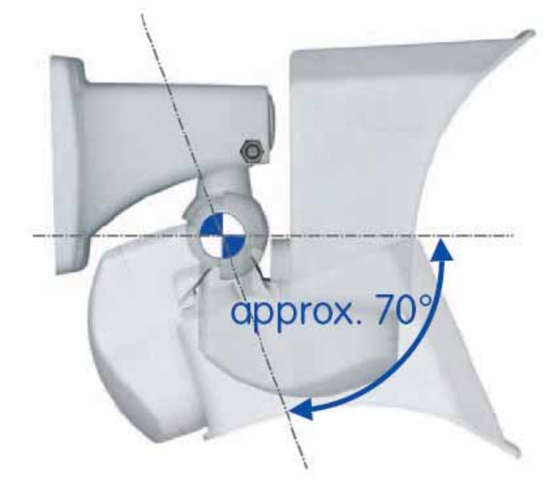
SecureFlex Wall Mount の設置オプション

壁面取付け時

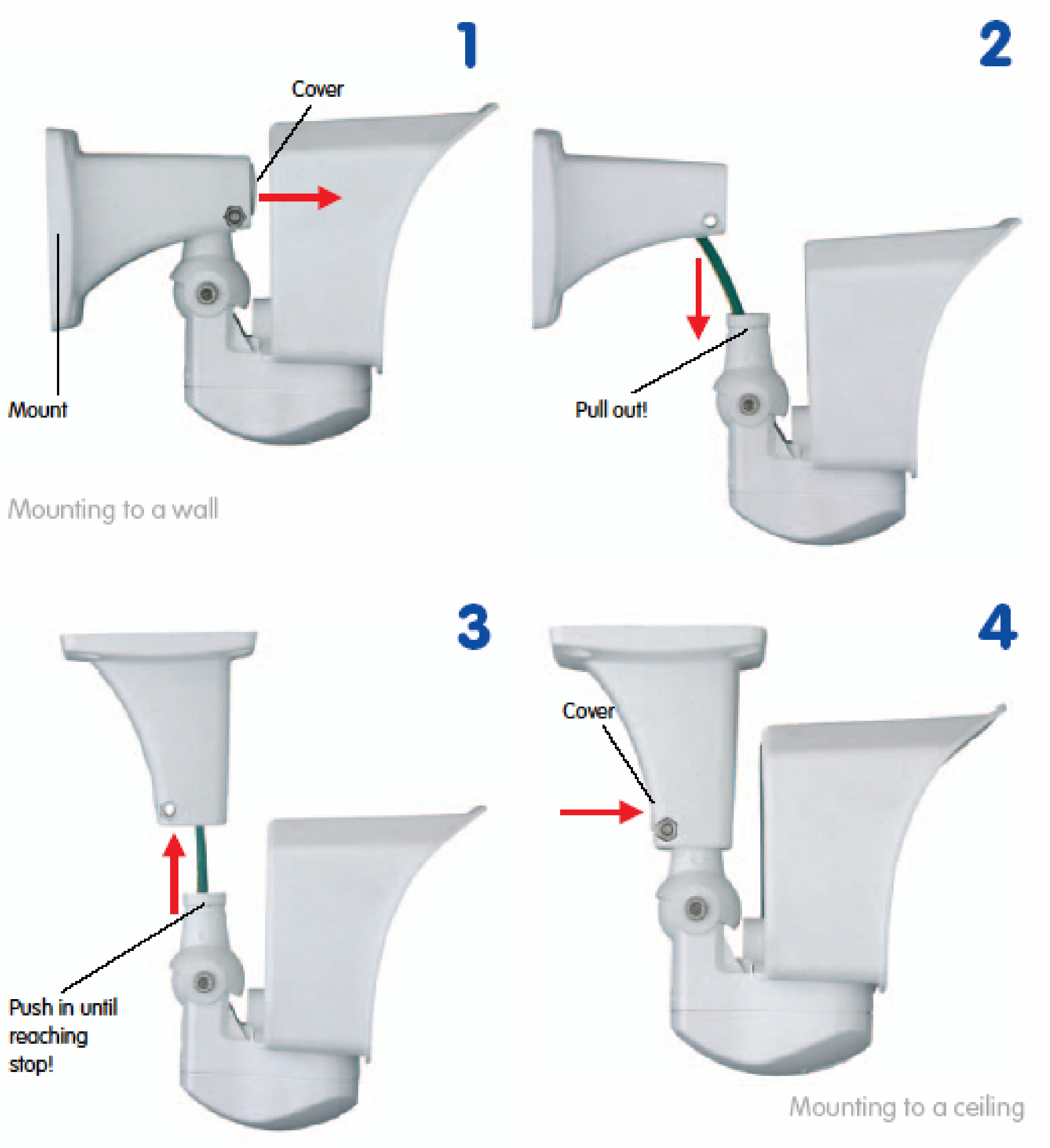
天井取付け時

水平可動域　±90°

垂直可動域　-70°



壁面取付けマウントから天井取付けマウントへ

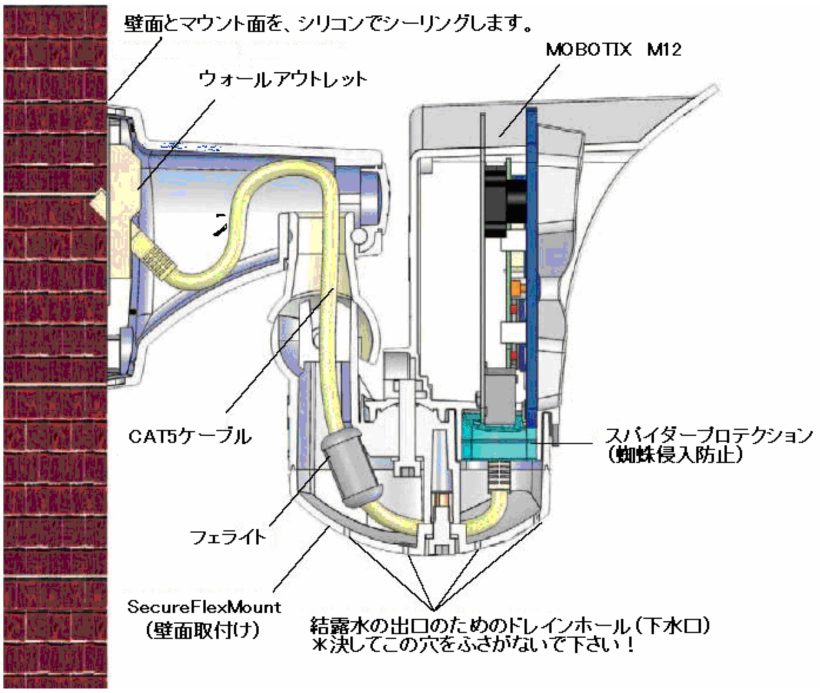


1. カバー (Cover) を取り外し、カバー近くの六角ねじを取り外します。
2. 壁面取り付け部分(マウント)をゆっくり引き抜きます。
3. マウントを、カバーが取り付けられていた穴に、完全に置くまで挿し込みます。
4. 六角ねじを取り付け、カバーを壁面取り付け時に空いていた穴に取り付けます。

カメラ設置位置の確定

1．まず、カメラを壁及び天井に取り付ける前に、最適な画角が取れるベストポジションを探し出します。その際に、必ず障害物を避ける位置を探してください。
2．壁及び天井にカメラを設置した後でも、SecureFlex Mount を水平/垂直に動かすことで、ポジションの微調整は可能です。
水平/垂直の可動域は、

- 水平 ： 約 180 °
- 垂直 ： 約 70 °

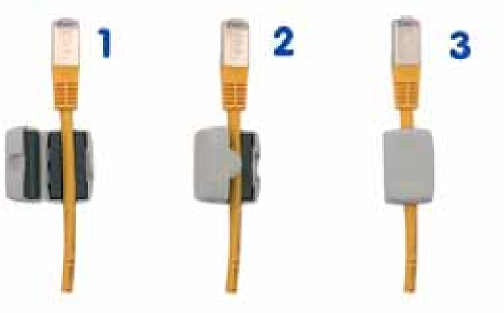


Ethenet ケーブルの接続

Ethernet ケーブルの接続方法は、既存に設置されている Ethernet ケーブルに、ケーブルコネクションを間に設置することが、一番シンプルに設置ができます。
もし、他の Ethernet ケーブルを使用する場合は、必ずシールド対応された Ethernet ケーブルを使用してください。

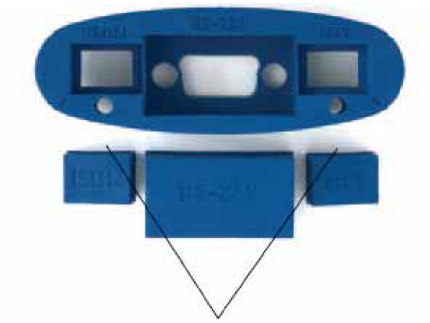
フェライトの取り付け

EMC 規格により、全てのカメラのケーブルにはフェライトを取り付けなければなりません。
＊フェライトは、カメラのコネクタにできるだけ近づけて取り付けます。（最大距離：5cm）
＊フェライトが適切に閉じられていることを確認します。



スパイダープロテクション (蜘蛛侵入防止)

SecureFlexMount には、既存にスパイダープロテクション (蜘蛛侵入防止) が設置されています。これは、小さな昆虫・動物の侵入を防ぐためです。
必ず、結露水の出口のための、膜付きドレインホールをふさがないで下さい。ドレインホールは、半透水性になっており、結露水の出口以外にも、小さな昆虫・動物の侵入防止もかねております。

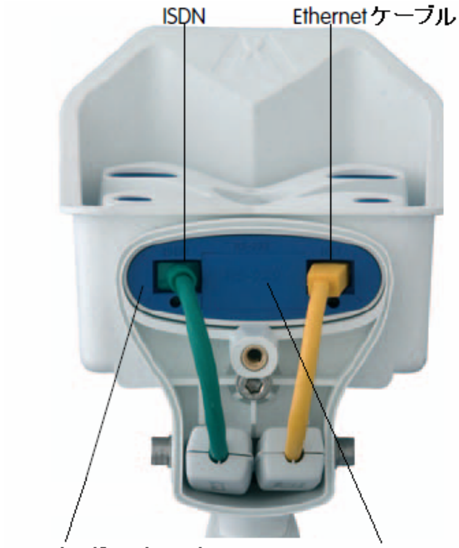


結露水の出口のための
膜付きドレインホール(下水口)

Ethenet ケーブル以外のケーブルの接続

Ethernet ケーブル以外のケーブル (RS232C) を接続する場合は、SecureFlexMount のボトムカバーを一度取り外して、ケーブルを接続する必要がございます。

- ボトムカバーの底にある六角ねじを、六角レンチで取り外し、ボトムカバーを取ります。
- 追加で接続するケーブルを、SecureFlexMount のマウントの中を通します。
- RS232C のゴムプラグを外し、ケーブルを挿し込みます。
- 接続したケーブルにフェライトを取り付けます。従って、Ethernet ケーブルと同様に、フェライトはマウント内部に収納します。
- ボトムカバーを再度装着し、六角ねじを取り付けます。
- どのケーブルが Ethenet ケーブルか RS232C のケーブルか混乱を避けるため、何某かのマークをつけて終了です。

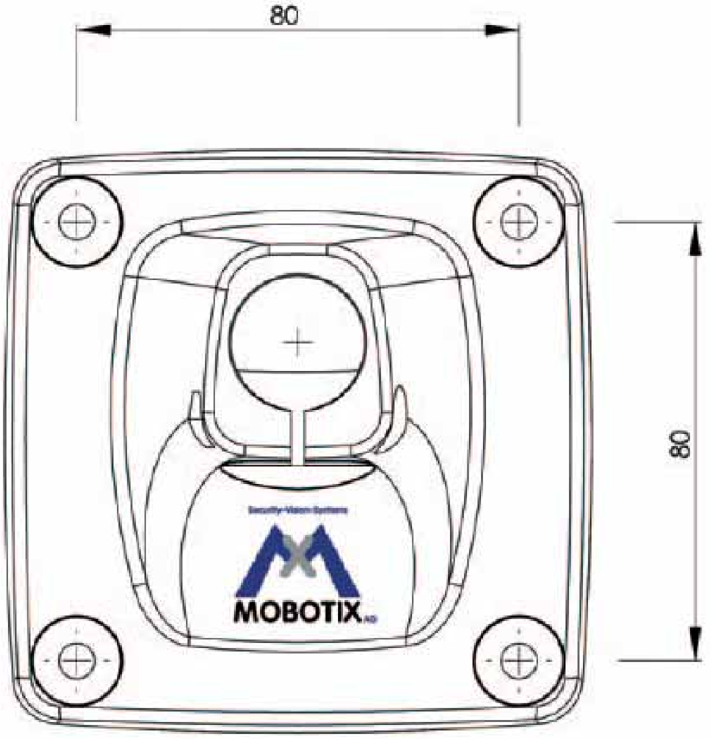


注意

現在、MOBOTIX JAPAN では、電波法の総合デジタル通信用設備に接続される端末機器の認定を取得しておりません。従いまして、ISDN を直接カメラに接続し、通信することは許されておりません。ISDN 回線を使用する場合は、カメラの手前に ISDN ダイヤルアップルーター等を接続して使用下さい。

最終設置

・SecureFlexMount のカバー（Cover）を、マウントの空いている穴に装着し、最後までしっかりと挿し込みます。
・カメラに付属している英語版マニュアル「M10 Camera Manual Part.1」の最後の Drilling Template（ドリル用テンプレート）をコピーもしくはプリントをします。
＊コピーもしくはプリントをする際に、絶対に倍率を 1 倍にして下さい。
・コピー及びプリントしたテンプレートをベースに、設置する壁及び天井に穴をあけるマークをつけます。
・設置する壁及び天井にドリルで穴をあけます。それらの穴にあわせ釘（dowels）を挿入します。
・ケーブルを接続し、付属でついている六角頭ねじとワッシャーをきちんと締め付けます。
・ネットワークにつながれているコンピューターから、カメラにアクセスをして、カメラの画像を表示させます。その画像を確認しながら、が画角の調整を行います。（カメラと PC のネットワーク接続方法は 3）-2「カメラの接続方法」pg.30 を参照）
・マウントに挿入したねじをしっかり締め付け、すべてのねじがきちんと締め付けていることを確認します。
＊壁にケーブルを通す穴がない場合は、マウント裏の各辺に、プライヤーでケーブルを通す穴を作成できます。但し、プライヤーで開けた穴の周辺には、シリコンシーリング材でシールドを行ってください。



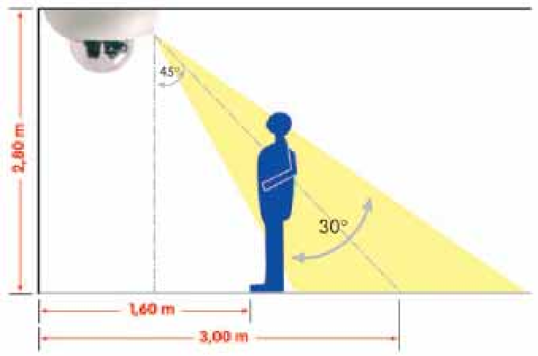
注意

マウントを取り付け時に、絶対に皿頭のねじを使用しないで下さい。
マウントを破壊してしまう恐れがございます。

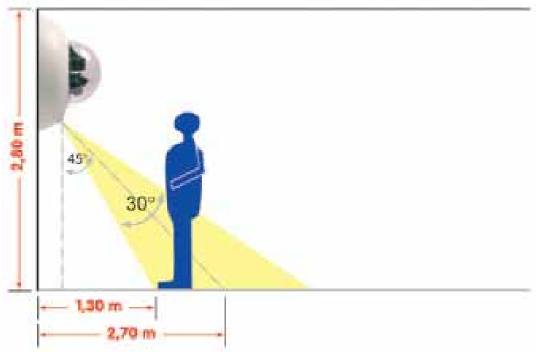
3．D12Di-FixDome

設置オプション

天井取付け時



壁面取付け時



天井･壁面に取り付ける場合、必ず赤外線パッシブセンサーの向きに注意してください。赤外線パッシブセンサーは約 10 メートルで、範囲は±15°です。もし、天井に取り付けるか、壁面に取り付けるか決定していない場合は、天井に取り付けることをお勧めします。(天井に取り付けることを考えたカメラ設計のため、レンズのポジションが壁面より範囲が広いため。)

＊設置場所に穴をあけるときには、必ず「D10 Camera Manual Part.1」の最後の Drilling Template (ドリル用テンプレート) を参照にします。

注意

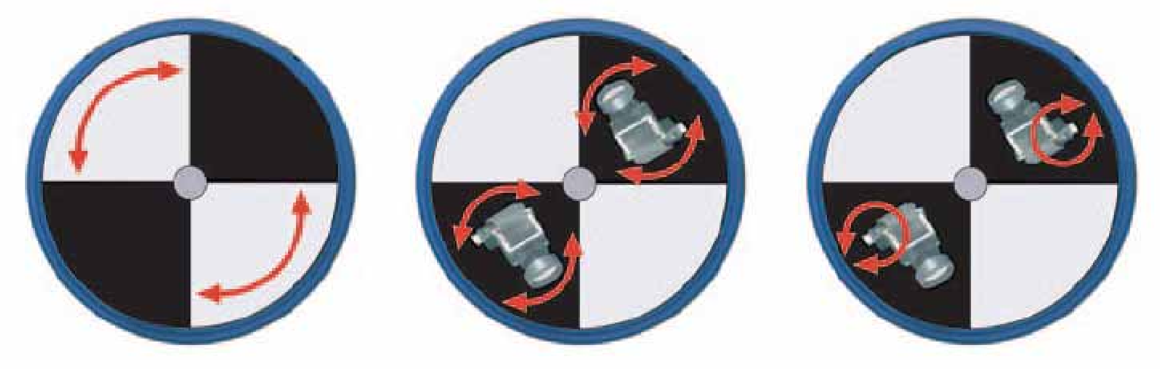
動作環境温度を確保するための注意事項

結露水の蓄積を避けるため、ドームの外側のシーリング部分をナイフで右図のように、切込み入れることをお奨めいたします。
切り込みは、約 3mm (アレンレンチと同じぐらいの幅) で、下向きに入れます。

設置前準備

カメラを天井もしくは壁面に設置する前に、レンズの向きとフラットケーブルの収納を計画します。
これらの動作は、設置後に最低限の動作のみを行うために必要なことです。

レンズのポジション

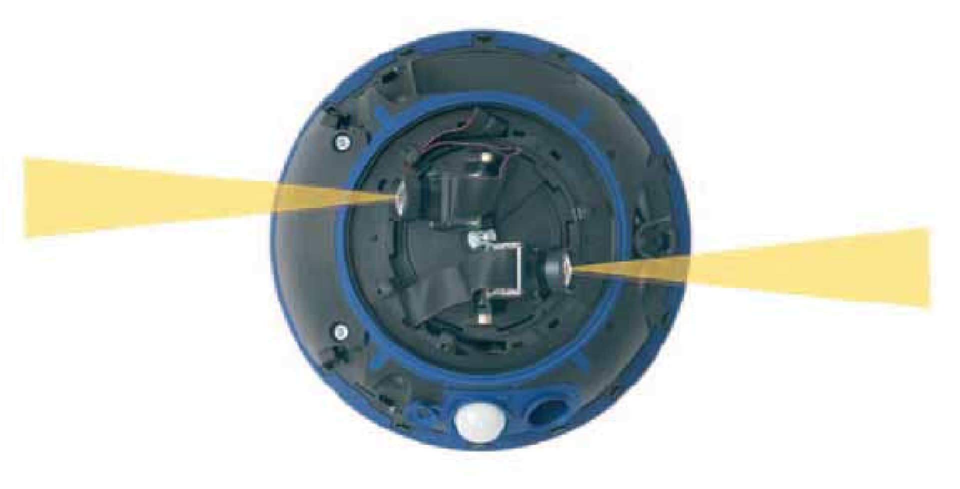


1. レンズキャリアの調節

2a. レンズマウントとレンズの調節

2b. レンズマウントとレンズの調節

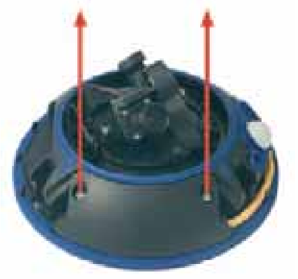
例)天井に取り付けた場合の、レンズとレンズマウントのポジション



例)壁面に取り付けた場合の、レンズとレンズマウントのポジション

Ethernet ケーブルの接続方法

1．付属している六角レンチで、M4x25 の六角ねじを取り、ケーブルカバーを取り外します。

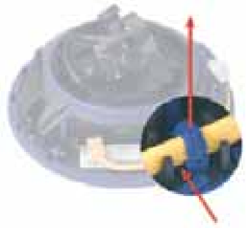


もし、ケーブルカバーが手で取り外しにくいようであれば、スクリュードライバーを使用して取り外します。その際には、左記の図のようにスクリュードライバーを挿し込み、やさしく持ち上げます。

2．CAT5ケーブルをカメラのボトムから、反時計回り方向に引きます（下記の図を参照）。必ず、きちんと下記の図のように配線してください。

3．ケーブルカバーの左下にある、ケーブルガイドライン上のゴムプラグを取り外します。また、後に一本のケーブルのみを使用する場合には、後でこのゴムプラグを使用しますので、きちんと保管しておいてください。万一紛失された場合は、IP65 の規格を失うことになります。

4．ケーブルをケーブルガイドに挿入します。

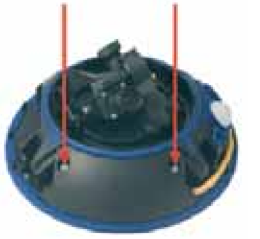


5．もし、ケーブルを 2 本使用する場合は、（ISDN は使用できません。Pg.XX を参照）ケーブルを下記の図のようにクロスして配線します。

＊ 2 本以上のケーブルを使用する場合には、必ず色の違うケーブルを使用して、ケーブルの種類を判別し易くしてください。

＊ RS232C のシリアルケーブルのコネクターは、ショートタイプを使用してください。

6．ケーブルカバーを入れなおし、六角ねじで取り付けます。その際に、必ずケーブルカバーは、ケースのシーリング部分とケーブルガイドラインにしっかり設置されていることを確認します。万が一、シーリング部分とケーブルカバーが設置されていない場合は、IP65 の規格を失うことになります。



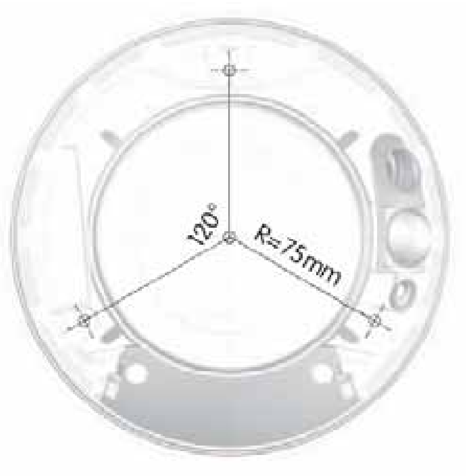
7．きちんとケーブルをケーブルガイドラインに沿って配線し、カメラ外側縁に出します。また、後程、アウターシェルをきちんと装着する必要もございます。

カメラ設置位置の確定

まず、カメラを壁及び天井に取り付ける前に、最適な画角が取れるベストポジションを探し出します。その際に、必ず障害物を避ける位置を探してください。

次に、ドリル用テンプレートを使用して、設置場所に穴をあけます。(ドリル用テンプレートは、カメラに付属している英語版マニュアル「D10 Camera Manual Part.1」の最後に付録) それをコピーもしくはプリントをし、そのテンプレートをベースに、設置する壁及び天井に穴をあけるマークをつけ、設置する壁及び天井にドリルで穴をあけます。

＊コピーもしくはプリントをする際に、絶対に倍率を 1 倍にして下さい。



CAT5 ケーブルの接続と計画

(1) カメラを設置場所に置きます。

(2) 設置場所の適切な穴まで、ケーブルをまで配線します。

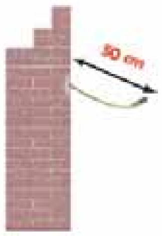
(3) カメラのケーブルガイドラインに沿って、きちんとケーブルをカメラに配線します。

(4) 壁もしくは天井に、カメラをマウントさせ、適切なねじを使用して設置します。

注意

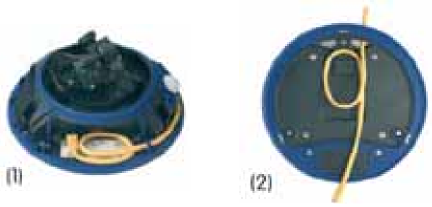
必ずケーブルの長さを適切に保ちます

きちんとケーブルが収納されるように、下記の図を参照にします。ケーブルは壁から約 50cm 離して設置します。もし、ケーブルが長すぎた場合には、下記の二通りに従います。



(1) RJ45 ポートの近くで丸めます。

(2) カメラの底で丸めます。



カメラの組み立て（詳細方法）

（1）**レンズユニットと挿入し、中央のねじを入れます。**

枠にレンズユニットを挿入し、中央のねじを入れます。そして、やさしくねじを締めて、レンズユニットを設置します。

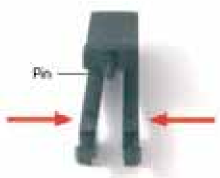
＊注意！：ねじを締めすぎないで下さい。カメラを破損する恐れがございます。

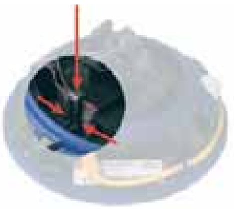
（2）**リボンケーブル（フラットケーブル）とレンズユニットを接続します。**

レンズユニットのピンヘッドに、リボンケーブル（フラットケーブル）のコネクタを挿し込みます。その際に、必ずリボンケーブルコネクターは、ドームに向かって、上側に挿し込みます。（後に、レンズの向きを変更する際に、引っ張らずに設置できます。）また、リボンケーブルは、必ずドームの内側の枠に沿って、きちんと収納されている必要がございます。

（3）**ケーブル留め具を使用して、リボンケーブルを守ります。**

指で留め具を持ち、ドーム内側の枠沿いの差込口に挿し込みます。必ず、留め具のピンをきちんと適切な位置に挿し込みます。





（4）**ドームを取り付けます。**

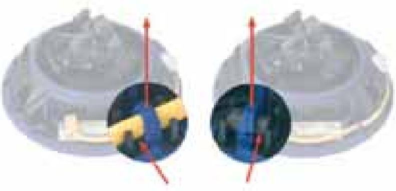
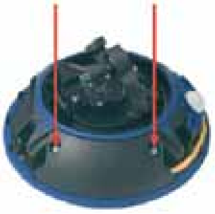
適当な布を用意し、ドームを持ちます。そして、時計回りにドームを回して設置します。これで、レンズの向きが変わることを防ぎます。

重要！：ドームの赤いマークがついている方向を、赤外線パッシブセンサーに向きをそろえます。これで、ドームの挿入口の調整不良を防ぎます。

注意！：付属で25%の透過率のドームがついています。

（5）**Ethernetケーブルとケーブルカバーの設置**

CAT5のケーブルを設置します。詳細は、Ethernetケーブルの接続方法（pg.16）参照。

（6）**アウターシェルの設置**

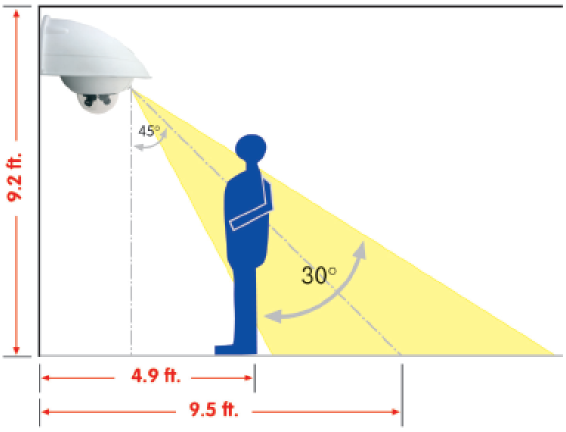
アウターシェルを手に取り、丸い穴が開いている場所を、カメラの赤外線パッシブセンサーに向けやさしく取り付けます。アウターシェルを設置するのは、カメラがきちんと設置場所（天井・壁面）に取り付けられ、レンズの調整をおこなった後に行います。

4. D12 Outdoor Wall Mount

設置オプション

壁面取付け時

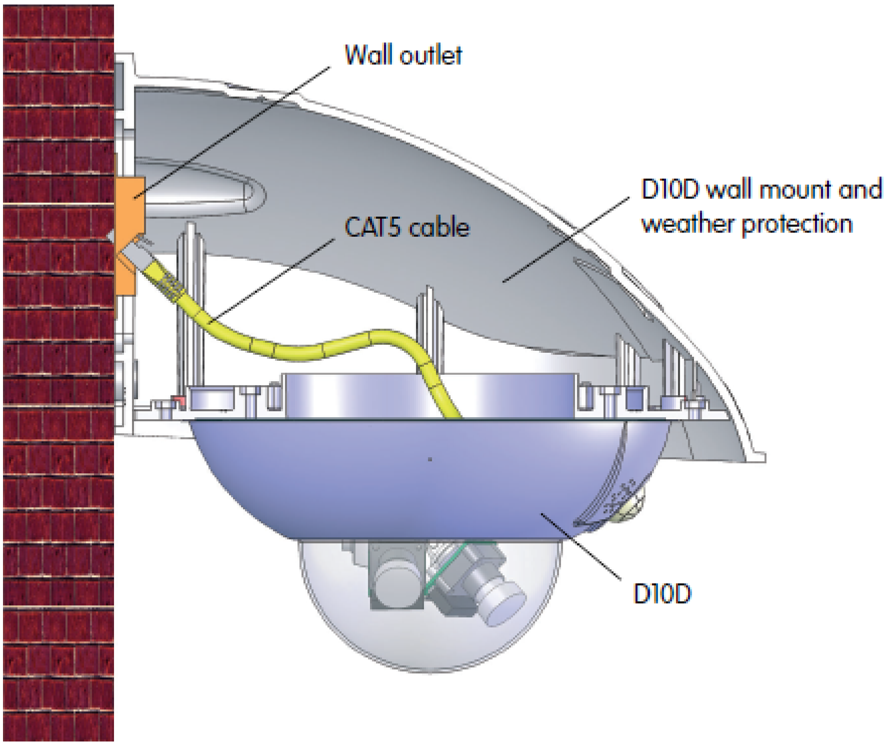
天井･壁面に取り付ける場合、必ず赤外線パッシブセンサーの向きに注意してください。赤外線パッシブセンサーは約 10 メートルで、範囲は±15 ° です。もし、天井に取り付けるか、壁面に取り付けるか決定していない場合は、天井に取り付けることをお勧めします。（天井に取り付けることを考えたカメラ設計。レンズのポジションが、壁面より範囲が広い。）



＊ 設置場所に穴をあけるときには、必ず「D10 Camera Manual Part.1」の最後の Drilling Template（ドリル用テンプレート）を参照にします。

カメラ設置位置の確定

カメラを壁及び天井に取り付ける前に、最適な画角が取れるベストポジションを探し出します。その際に、必ず障害物を避ける位置を探してください。



最終設置

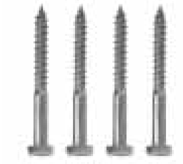
屋外ケースの設置

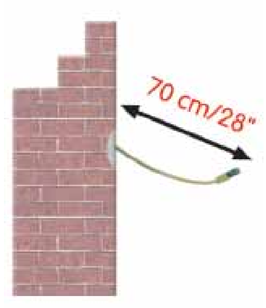
・カメラに付属している英語版マニュアル「D10 Camera Manual Part.1」の最後の Drilling Template（ドリル用テンプレート）をコピーもしくはプリントをし、そのテンプレートをベースに、設置する壁に穴をあけるマークをつけます。
＊コピーもしくはプリントをする際に、絶対に倍率を 1 倍にして下さい。

・設置する壁にドリルで穴をあけます。

・壁に設置する前に、付属しているウォールシーリングを、屋外ケースの壁面側に取り付けます。更に、設置する壁には、質のよいシリコンシーリング材で、シールドします。

・それらの穴に、付属してある 10mm あわせ釘（10mm dowels）を挿入し、ウッドスクリューとワッシャーで取り付けます。





・もし、カメラに付属でついている LAN ケーブルを使用しない場合は、必ず壁から約 70cm ケーブルを出しておきます。

ボトムプレートの設置

・屋外ケース設置後、カメラはボトムプレートを使用して取り付けることができます。ボトムプレートは、屋外ケースの底を塞ぐのと同時に、カメラを設置する役目も果たします。
ボトムプレートの上側には、ステンレススチール六角ナット用の 24 個の穴があります。それ故、カメラの角度を 15°変化することができます。

○基本設置位置

・赤外線パッシブセンサーの向きが正面の場合、六角ナットを穴番号「1」を使用します。

・赤外線パッシブセンサーの向きが右の場合、六角ナットを穴番号「3」を使用します。

・赤外線パッシブセンサーの向きが左の場合、六角ナットを穴番号「7」を使用します。

カメラをボトムプレートに取り付け

ボトムプレートをカメラに取り付けるには、付属でついている六角ねじ、六角ナットとワッシャー（φ4,3mm）を使用して取り付けます。

注意

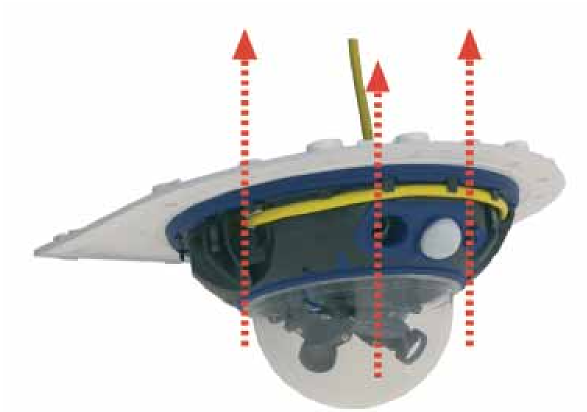
3mm の六角レンチを使用して、六角ねじを締め付ける際に、
必ずドームを傷つけないように、細心の注意を払ってください。

・カメラから出ているケーブルを、ボトムプレートの底部（スムースな面）を下向けにして出します。

・ボトムプレートの底部に、カメラを配置します。第一に、赤外線パッシブセンサーの位置を考慮する必要がございます。そこで、赤外線パッシブセンサー右側の取り付けねじ部分を、きちんとボトムプレートの穴の上にくるように配置します。

・赤外線パッシブセンサー右側の取り付けねじ部分にきた穴に六角ナットを挿入し、六角ねじとワッシャーを取り付けます。

・最後に、ボトムプレートを反転させ、先程六角ナットを挿入した穴の番号を確認し、同じ番号の穴に六角ナットを同様に挿入します。（赤外線パッシブセンサーの向きが正面の場合、穴番号は「1」になります。）残りの2つのねじ取り付け部分に、六角ねじとワッシャーを使用して、カメラを取り付けます。



・必ず、すべての六角ねじがきちんと設置されていることを確認下さい。

カメラの接続とボトムプレートへの設置

・下記の図のように、屋外ケースの壁裏側に、ボトムプレートの壁側を挿入します。

・ボトムプレートの前面を上向きに押し込みます。

・ボトムプレートを屋外ケースに設置し（8つの六角ねじを使用）、きちんとねじが締められていることを確認します。

アウターシェルの設置

・レンズの焦点と向きを調整し、ドームを設置した後にアウターシェルを取り付けます。

・アウターシェルを手に取り、丸い穴が開いている場所を、カメラの赤外線パッシブセンサーに向けやさしく取り付けます。アウターシェルを設置するのは、カメラがきちんと設置場所（天井・壁面）に取り付けられ、レンズの調整をおこなった後に行います。

注意

MOBOTIX D12D-Outdoor は、カメラがきちんとボトムプレートに設置され、ドームとアウターシェルが装着されていないと、屋外にすることはできません。

5．M22M-Secure

設置オプション

壁面取付け時

天井取付け時

天井取付け時可動域

水平可動域　360°

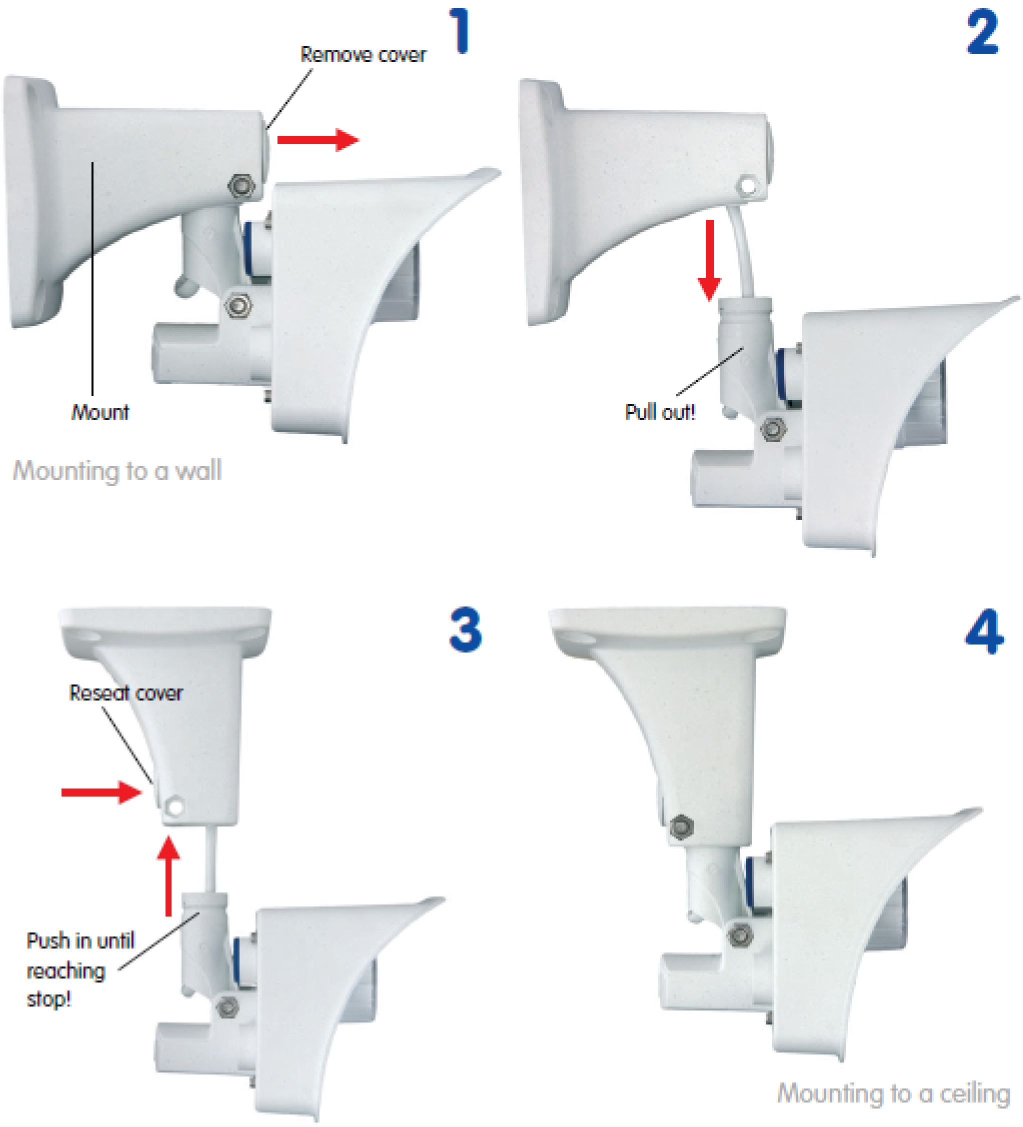
垂直可動域　90°

壁面取り付け時可動域

水平可動域　180°

垂直可動域　70°

壁面取付けマウントから天井取付けマウントへ



1．カバー (Cover) を取り外し、カバー近くの六角ねじを取り外します。
2．壁面取り付け部分(マウント)をゆっくり引き抜きます。
3．マウントを、カバーが取り付けられていた穴に、完全に置くまで挿し込みます。
4．六角ねじを取り付け、カバーを壁面取り付け時に空いていた穴に取り付けます。

注意

マウントを取り付け時に、絶対に皿頭のねじを使用しないで下さい。
マウントを破壊してしまう恐れがございます。

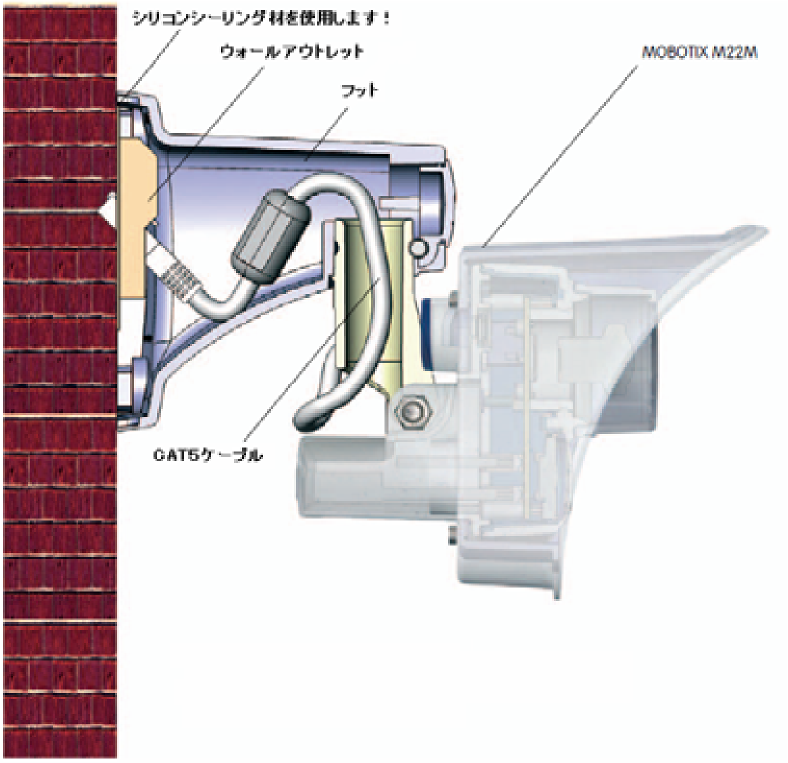
カメラ設置位置の確定

1．まず、カメラを壁及び天井に取り付ける前に、最適な画角が取れるベストポジションを探し出します。その際に、必ず障害物を避ける位置を探してください。

2．壁及び天井にカメラを設置した後でも、SecureFlex Mount を水平/垂直に動かすことで、ポジションの微調整は可能です。

水平/垂直の可動域は、

壁面取付け時	天井取付け時
･水平 ： 約 180 °	･水平 ： 約 360 °
･垂直 ： 約 70 °	･垂直 ： 約 90 °



Ethernet ケーブルの接続

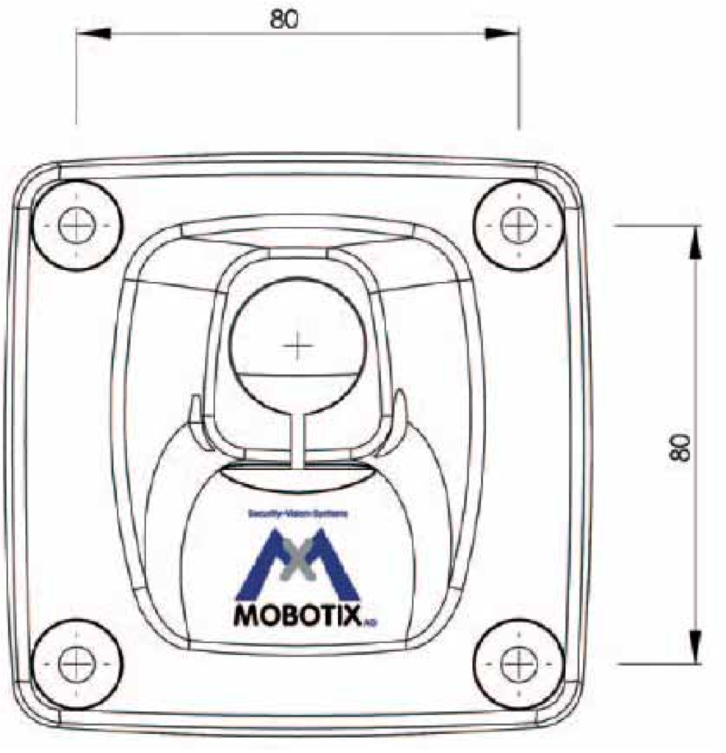
Ethernet ケーブルを接続方法は、既存に設置されている Ethernet ケーブルに、ケーブルコネクションを間に設置するのが、一番シンプルに設置ができます。

もし、他の Ethernet ケーブルを使用する場合は、**必ず付属でついているケーブルと同様ものを使用してください。**（シールド対応され、ジャック部分にスカートのついた Ethernet ケーブル）。

注意
必ず Ethernet ケーブルのゴムキャップしっかりと装着してください！ 装着しないと IP65 の規格を失い、屋外に設置することはできません。

最終設置

・SecureFlexMount のカバー（Cover）を、マウントの空いている穴に装着し、最後までしっかりと挿し込みます。
・カメラに付属している英語版マニュアル「M22 Camera Manual Part.1」の最後の Drilling Template（ドリル用テンプレート）をコピーもしくはプリントをします。
＊コピーもしくはプリントをする際に、絶対に倍率を 1 倍にして下さい。
・コピー及びプリントしたテンプレートをベースに、設置する壁及び天井に穴をあけるマークをつけます。
・設置する壁及び天井にドリルで穴をあけます。それらの穴にあわせ釘（dowels）を挿入します。
・ケーブルを接続し、付属でついている六角頭ねじとワッシャーをきちんと締め付けます。
・ネットワークにつながれているコンピューターから、カメラにアクセスをして、カメラの画像を表示させます。その画像を確認しながら、が画角の調整を行います。（カメラと PC のネットワーク接続方法は 3）-2「カメラの接続方法」pg.30 を参照）
・マウントに挿入したねじをしっかり締め付け、すべてのねじがきちんと締め付けていることを確認します。
＊壁にケーブルを通す穴がない場合は、マウント裏の各辺に、プライヤーでケーブルを通す穴を作成できます。但し、プライヤーで開けた穴の周辺には、シリコンシーリング材でシールドを行ってください。



注意

マウントを取り付け時に、絶対に皿頭のねじを使用しないで下さい。
マウントを破壊してしまう恐れがございます。

5. 配線・防火・落雷・サージ対策

屋内及び屋外に配線を行う際は、必ず配線・防火及び雷対策の規定どおりに行ってください。MOBOTIX 社は、MOBOTIX ネットワークカメラを設置・工事する業者は、ネットワーク機器及び防火・雷対策をきちんと把握できる方々をお奨めいたします。また、サージ対策に関しましても、最新の技術を装置することをお奨めいたします。

配線

データケーブル ： Ethernet 接続する際には、必ず二重シールドされた CAT 5/7 ケーブル (S/STP) を使用してください。

屋外 ： 屋外に設置する場合は、必ず屋外設置用のケーブルを使用すると共に、雷及びサージ対策に関しても予防する必要がございます。

配線距離 ： ケーブルの長さは、データの通信のために、必ずケーブルの種類の最大距離上まってはいけません。

最大ケーブル距離 (Ethernet)
データ/電源供給 ： 最大 100m

ノイズ回避 ： データケーブルの近くに他の電源ケーブルや高電圧配線等がある場合、必ずデータケーブルとの距離をできるだけ離して設置して下さい。

防火対策

カメラへの電源ラインを設置する際には、必ず規定通りに配線を行い、設置場所に防火対策を施して下さい。

雷とサージ対策

- 避雷針 ： 落雷の恐れのある場所 (例：屋根の上等) には、きちんと落雷のエネルギーがグランドに向かい、カメラを落雷から保護するために、避雷針とカメラとの距離は、1 メートル以上高く、1 メートル以上離して設置してください。
- サージ対策 ： カメラ、建物及びネットワーク機器へのダメージを回避するため、必ずきちんとしたサージ対策を行ってください。また、19 インチラックサージ保護装置や、UPS などをカメラや、すべてのネットワーク機器 (スイッチングハブ、ルーター、サーバ等) にも、サージ保護を必ず設置してください。

メモ

3）.カメラの初期設定方法

1．ＰＣ側で準備すること

＊以下の設定は、Windows XP を対象にしております。

・ネットワークアドレスの設定変更

例）PC のＩＰアドレスを　[10.1.0.11]、サブネットマスクを　[255.0.0.0]に変更します。

＜手順＞

① デスクトップ画面で 「スタート」 → 「コントロールパネル」 → 「ネットワーク接続」 の順にクリックをし、ネットワーク接続のページを開きます。その中の、「ローカル エリア接続」 のアイコン上で、右クリックをし、プロパティを開きます。

②「インターネット プロトコル（TCP/IP）」をクリックし、右下のプロパティをクリックします。

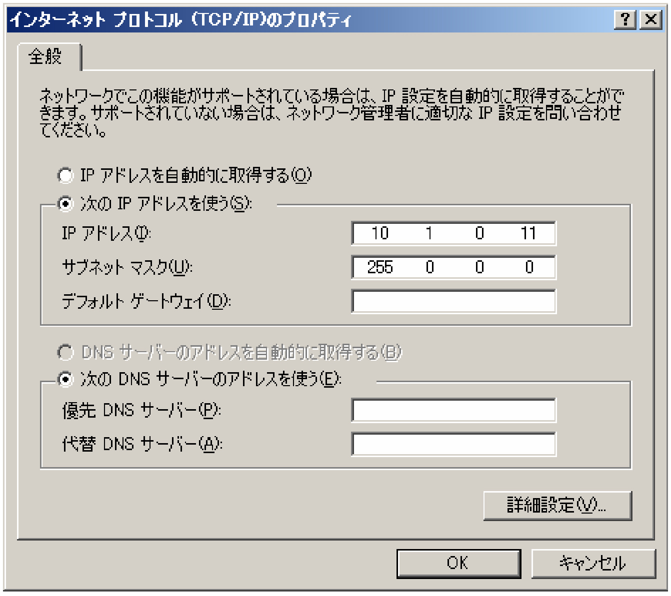
③ 表示されたＩＰアドレスとサブネットマスクを必ず控えておいてください。（後で設定を戻すときに必要になります。）

④ 「次のＩＰアドレスを使う」を選択し、

<u>IP アドレス　10.1.0.11</u>
<u>サブネットマスク　255.0.0.0</u>

と入力し、「OK」をクリックします。

⑤ 「ローカルエリアの接続のプロパティ」も「OK」をクリックして、終了です。



2. カメラの接続方法

＊接続を誤ったまま電源を入れるとカメラが壊れる可能性がございます。

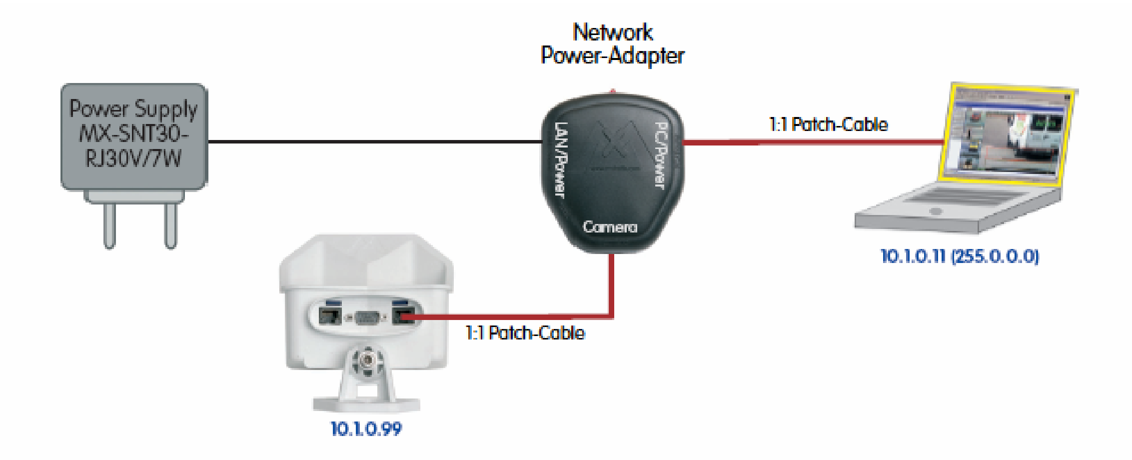
最大ケーブル距離 (Ethernet)
データ/電源供給 ： 最大 100m

M12 の接続方法

○パターン1　ネットワークアダプタを使用し、ＰＣを直接接続する。

イーサーネットケーブルは全て、ストレートケーブルを使用して下さい。

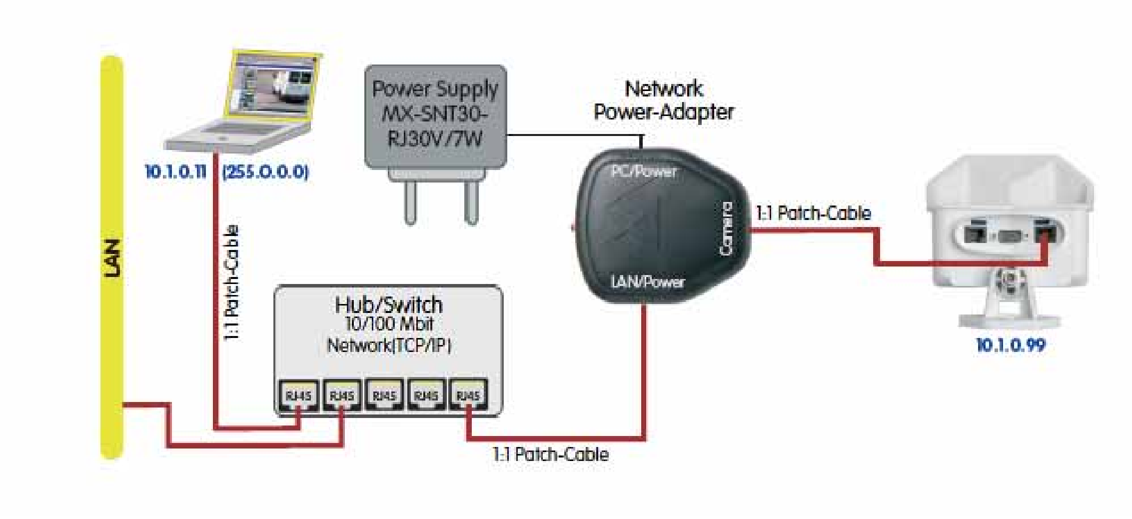
Network power-Adapter ・PC/Power → PC
・LAN/Power → 電源ケーブル
・Camera → カメラ



○パターン2　ネットワークアダプタを使用し、ネットワーク (ルータ、スイッチングハブ等) に接続する。

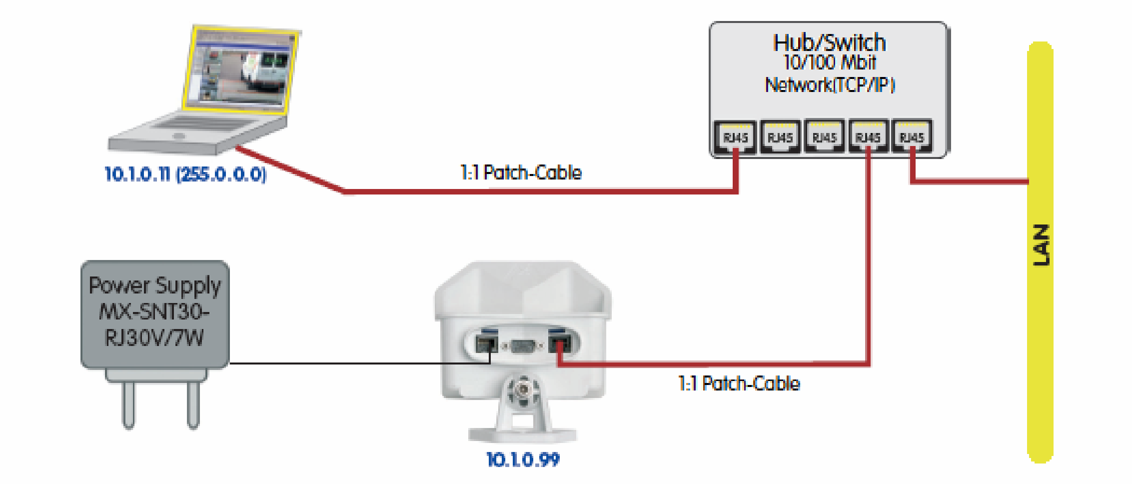
イーサーネットケーブルは全て、ストレートケーブルを使用して下さい。

Network power-Adapter ・PC/Power → 電源ケーブル
・LAN/Power → ネットワーク (ルータ、スイッチングハブ等)
・Camera → カメラ



○パターン3　ネットワークアダプタを使用せず、ＰＣに直接接続する。
イーサーネットケーブルは、クロスケーブルを使用して下さい。

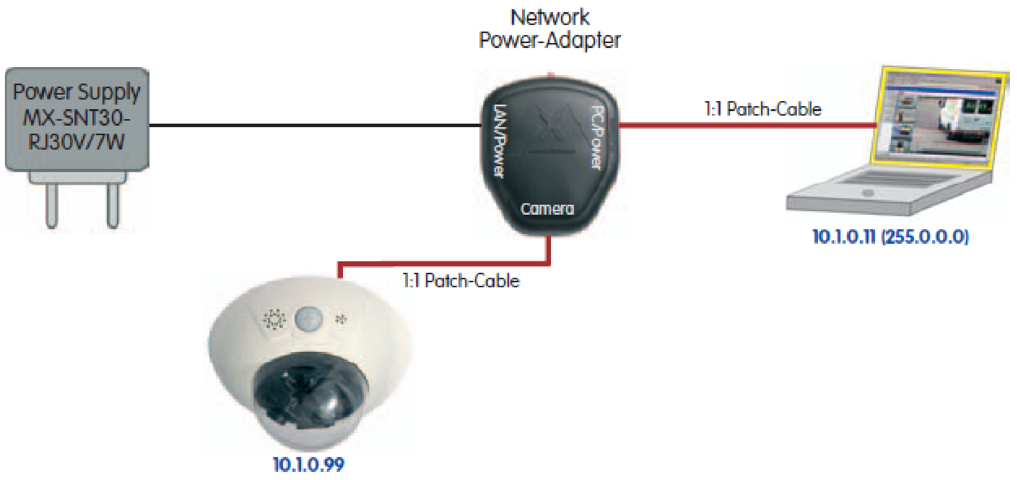
○パターン4　ネットワークアダプタを使用せず、ネットワーク（ルータ、スイッチングハブ等）に接続する。
イーサーネットケーブルは全て、ストレートケーブルを使用して下さい。



D12 の接続方法

○パターン1　ネットワークアダプタを使用し、ＰＣを直接接続する。
イーサーネットケーブルは全て、ストレートケーブルを使用して下さい。

Network power-Adapter　・PC/Power　→　PC
・LAN/Power　→　電源ケーブル
・Camera　→　カメラ



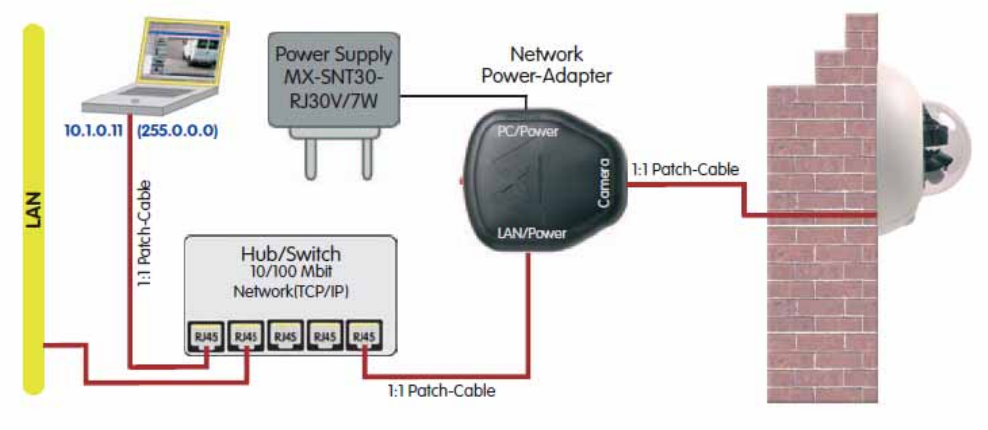
○パターン2　ネットワークアダプタを使用し、ネットワーク（ルータ、スイッチングハブ等）に接続する。

イーサーネットケーブルは全て、ストレートケーブルを使用して下さい。

Network power-Adapter　・PC/Power　→　電源ケーブル

・LAN/Power　→　ネットワーク（ルータ、スイッチングハブ等）

・Camera　→　カメラ

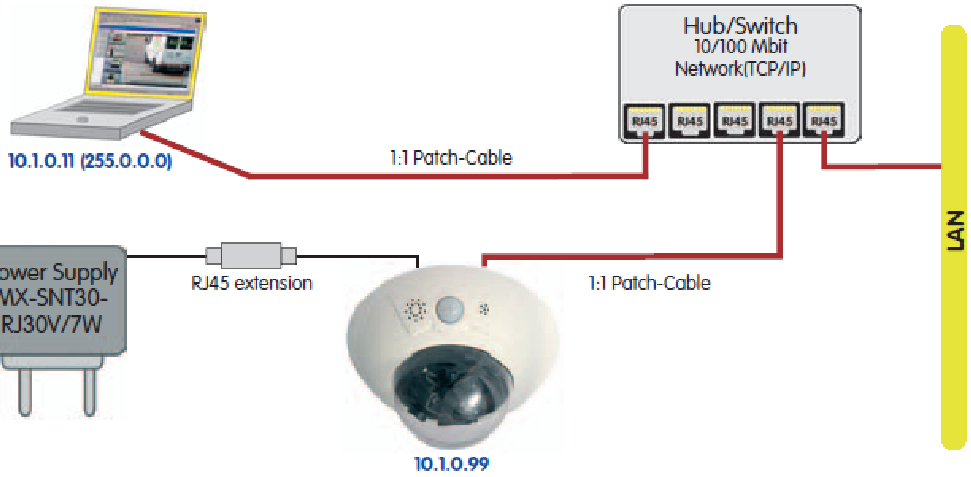


○パターン3　ネットワークアダプタを使用せず、ＰＣに直接接続する。

イーサーネットケーブルは、クロスケーブルを使用して下さい。

○パターン4　ネットワークアダプタを使用せず、ネットワーク（ルータ、スイッチングハブ等）に接続する。

イーサーネットケーブルは全て、ストレートケーブルを使用して下さい。

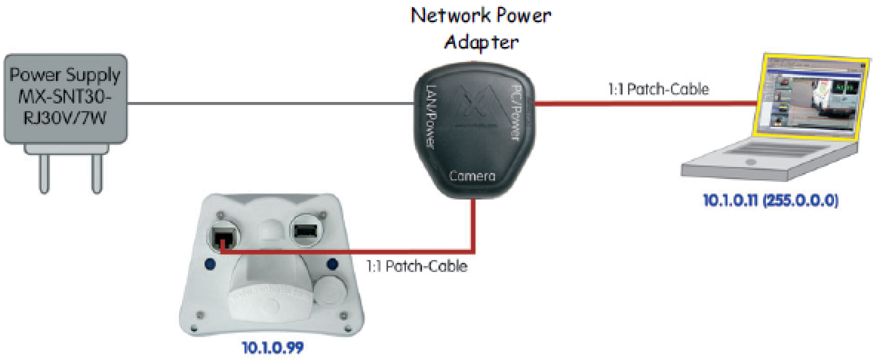


M22 の接続方法

○パターン1　ネットワークアダプタを使用し、ＰＣを直接接続する。

イーサーネットケーブルは全て、ストレートケーブルを使用して下さい。

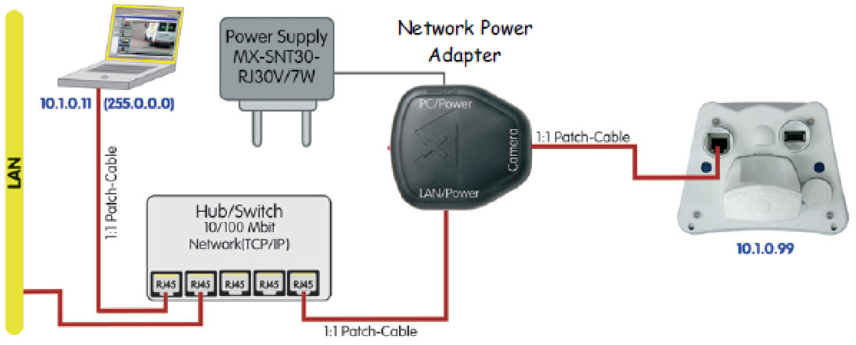
Network power-Adapter　・PC/Power　→ PC
・LAN/Power　→ 電源ケーブル
・Camera　→ カメラ



○パターン2　ネットワークアダプタを使用し、ネットワーク（ルータ、スイッチングハブ等）に接続する。

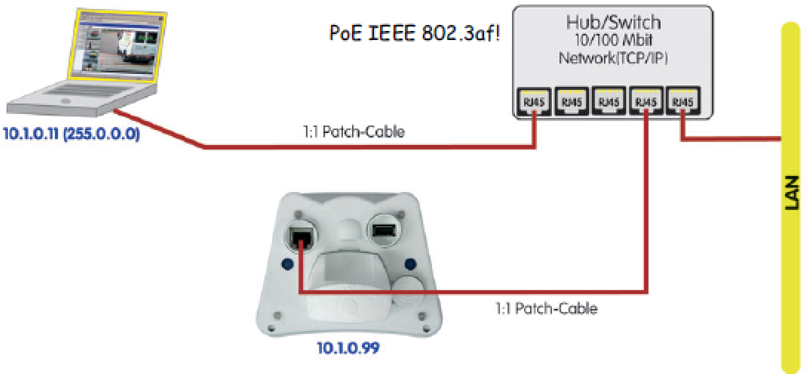
イーサーネットケーブルは全て、ストレートケーブルを使用して下さい。

Network power-Adapter　・PC/Power　→ 電源ケーブル
・LAN/Power　→ ネットワーク（ルータ、スイッチングハブ等）
・Camera　→ カメラ



○パターン3　PoE スイッチングハブ(IEEE.802.3af)を使用して接続する。

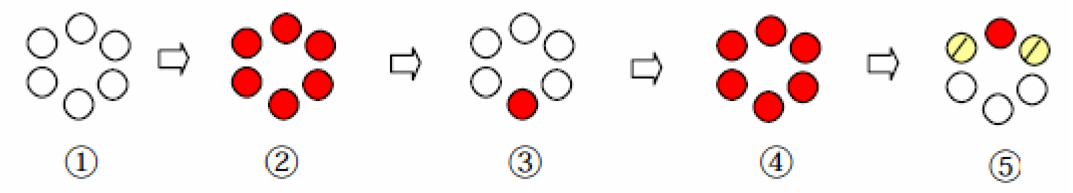
イーサーネットケーブルは全て、ストレートケーブルを使用して下さい。



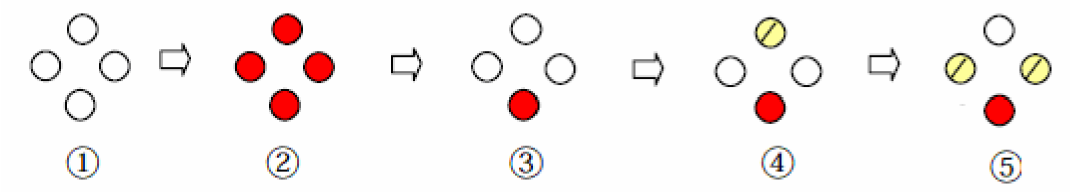
3. カメラの初期設定

カメラに電源が供給されますと、カメラ前面の 6 個の LED が、下の図のように点灯します。

M12 の場合

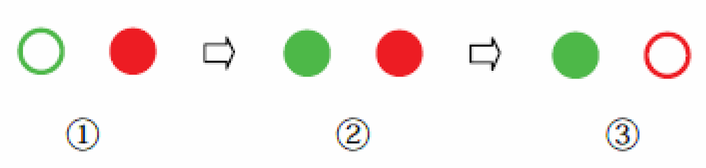


D12 の場合



①カメラ OFF 状態
②ハードウェアテスト
③OS（オペレーティングシステム）の解凍
④OS（オペレーティングシステム）のスタート
⑤アプリケーションのスタート

M22 の場合



①起動中
②カメラボタン受付中（カメラのリセット等）
③アプリケーションスタート

「アプリケーションのスタート」の状態になれば、カメラへのアクセスが可能です。ブラウザ（インターネット・エクスプローラ）を起動し、アドレスにカメラのデフォルトの IP アドレス（シリアルナンバー）を入力し、エンターキーを押します。

ブラウザ画面にカメラ映像が表示されます。＊末尾の"J"は不要です。

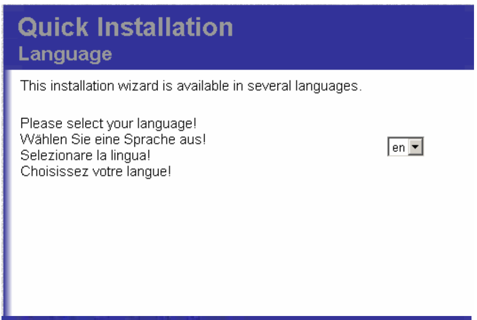
クイックインストレーション

1．ブラウザ左側にある、ソフトボタンの中の「Admin Menu」をクリックします。

2．ユーザー名とパスワードを入力します。

重要！	
ユーザー名：	admin
パスワード：	meinsm

3．クイックインストレーションが始まります。



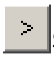
① Language・言語

言語を選択します。

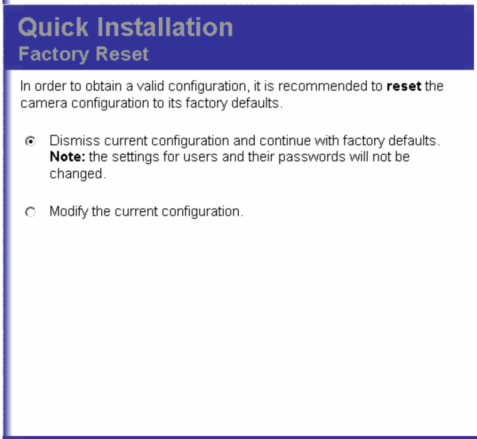
en ： 英語

de ： ドイツ語

＊今回は英語で説明します。

右下のをクリックします。（以後、省略）

② Introduction・概論



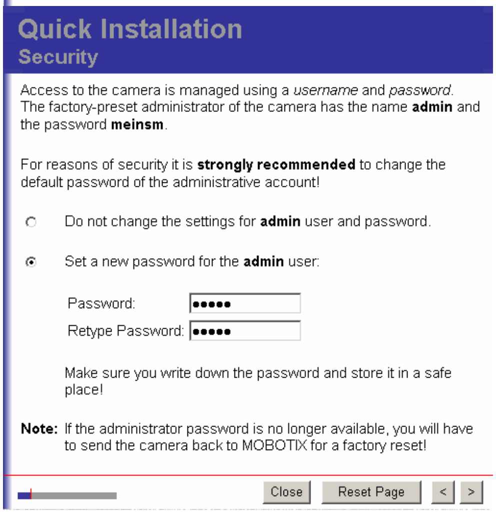
③ Factory Reset・リセット

初めてカメラを起動する場合は、

“Dismiss current configuration…”を選択します。

元のカメラの設定を活かす場合は、

“Modify the current configuration”を選択します。



④ Security・セキュリティ

カメラの管理者(admin)パスワードを設定します。

デフォルト：meinsm

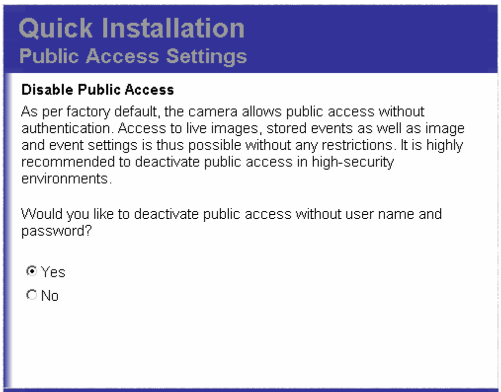
＊ デフォルトのパスワードは広く知れ渡っているため、admin パスワードの変更は、強く推奨いたします。

＊ パスワードは大切に保管してください。パスワードを紛失した際には、リセットが利かず、ドイツに送らなければならなくなります。

⑤ Public Access Settings・アクセス制限

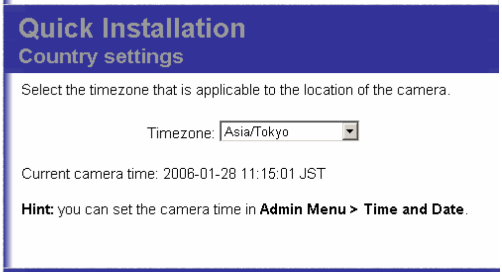
カメラのアクセス制限の設定をします。

Yes に設定した場合、すべてのパブリックアクセスが無効になり、ページ切り替えの度に、ユーザー名とパスワードを聞いてセキュリティを高めます。ローカルのネットワーク環境下でいちいちパスワードを入力するのが面倒であれば、No を選択します。



⑥ Country Settings・国設定

“Asia/Tokyo” を選択します。

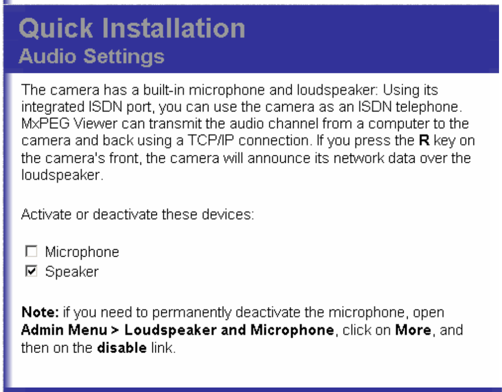


⑦ Audio Settings・音設定

マイクとスピーカーの On/Off の設定です。

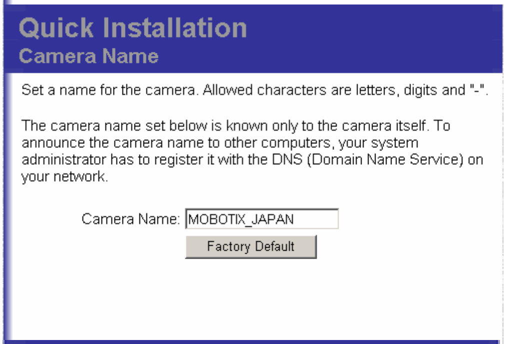
デフォルトではマイクは On ではございません。

On にしたい場合は“Microphone”をクリックします。



⑧ Camera Name・カメラの名前

カメラの名前を変更します。



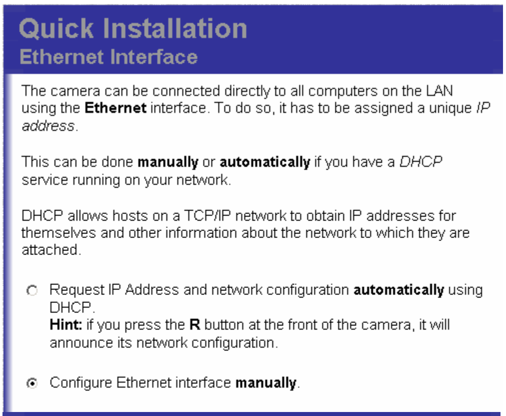
⑨ Network Interfaces・ネットワークインターフェース

ネットワークインターフェースを選択します。

＊現在、MOBOTIX JAPAN では、電波法の総合デジタル通信用設備に接続される端末機器の認定を取得しておりません。従いまして、ISDN を直接カメラに接続し、通信することはゆるされておりません。ISDN 回線を使用する場合は、カメラの手前に ISDN ダイヤルアップルーター等を接続してください。

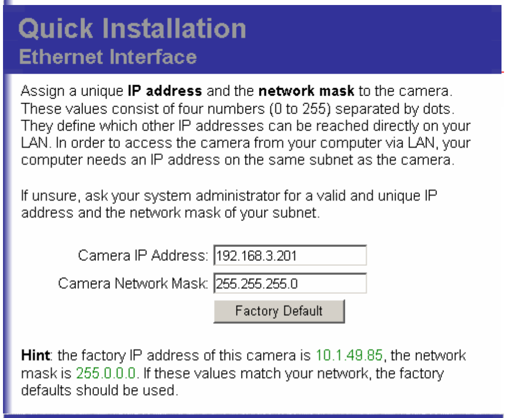
⑩ Ethernet Interface(1)･イーサーネット (1)

IP アドレスの手動取得か、自動取得 (もしネットワークに DHCP サービスがある場合) を選択します。手動所得の場合は、Ethernet Interface(2)で設定します。



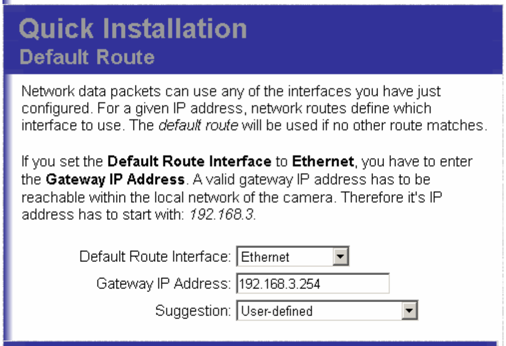
⑪ Ethernet Interface(2)･イーサーネット(2)

使用するネットワークに合わせて、IP アドレスを設定します。



⑫ Default Route･デフォルトゲートウェイ

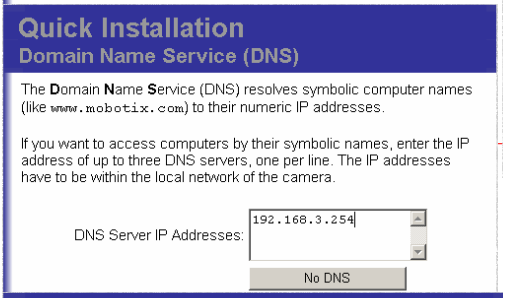
カメラのデフォルトゲートウェイを、ネットワークの環境に合わせて設定します。



⑬ Domain Name Service(DNS)･DNS サービス

DNS サーバを設定します。

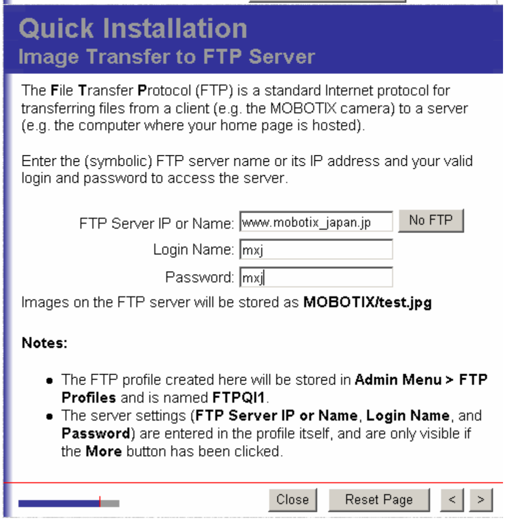
DNS サーバがない場合は、空欄にします。



⑭ Image Transfer to FTP Server･FTP

カメラの画像をFTPで送る場合の、FTPサーバの設定をします。

FTP を使用しない場合は、空欄にします。



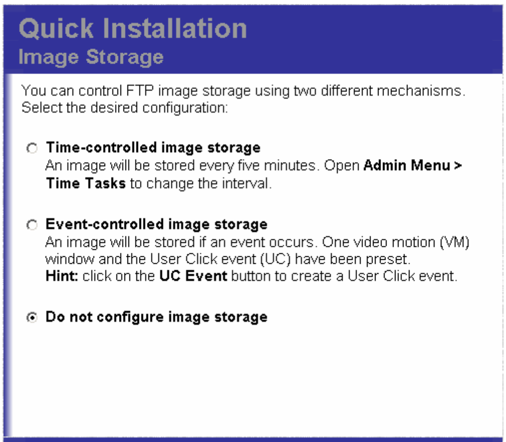
⑮ Image Storage・FTPイメージ

FTP で送る画像の保存方法を設定します。

○ Time-controlled image storage：
一画像を 5 分毎に送ります。

○ Event-controlled image storage：
一画像をイベント発生時に送ります。

○ Do not configure imagestorage：
設定しません。



⑯ Video Codec・動画コーデック

動画を配信するコーデックを設定します。

○Web application…モーション JPEG

○Fast Audio and Video Streaming…MXPEG

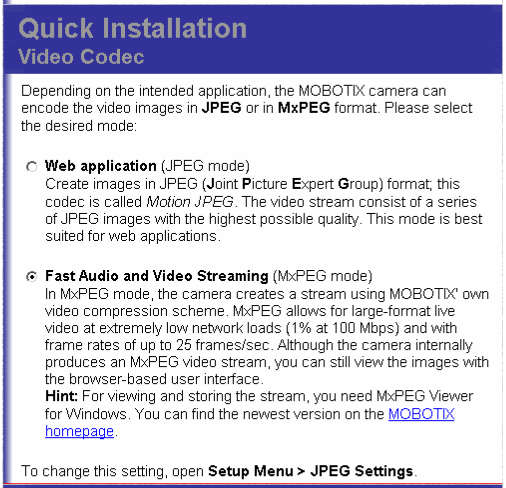
＊MxPEG は、MOBOTIX が独自に開発した、音声付動画コーデックです。

詳しくは

http://www.kjfellow.com/mobotix/

http://www.mobotix.com/

を御覧下さい。



⑰ Store Configuration・設定保存

クイックインストレーションの設定を保存します。

Store Configuration をクリックします。

⑱ Reboot the camera・再起動

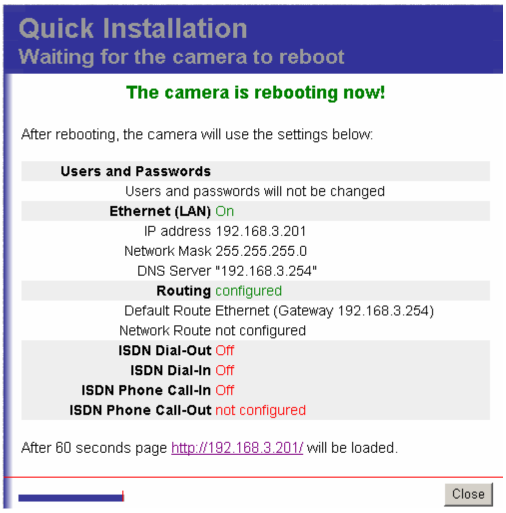
設定をフラッシュに保存するため、カメラを再起動させます。

Reboot をクリックして、再起動します。

⑲ Waiting for the camera to reboot･再起動の待機

カメラは約 60 秒後に起動し、カメラのページに自動的にジャンプします。

その間もしくはその後に、カメラを使用するネットワークに設置してください。



＊クイックインストレーションの設定は、以降「Admin Menu」の中で、再度設定可能です。

4．ネットワークへの接続

①カメラの接続変更

ネットワークに接続する場合（ルータ、スイッチングハブ等）、ネットワークアダプタへの接続方法が若干異なります。（AC アダプターとイーサーネットケーブルの位置が変わります。）ご注意下さい。
詳しくは、3)-2「カメラの接続方法」 パターン2もしくはパターン4 (pg.30）を参照にして下さい。

②PC の IP アドレスの変更

再度、使用するネットワークに合わせて、PC の IP アドレスを変更します。変更の仕方は、2.1 PC 側で準備すること (pg．XX）を参照にして下さい。

3）.IPアドレスを忘れたとき

1．カメラの IP アドレス発声機能

カメラが起動していることを確認（8ページ参照）してから、カメラの“R ボタン”を押します。
カメラのスピーカーからカメラの「IP アドレス」、「ネットワークマスク」、「マックアドレス」をアナウンスします。

＊カメラのスピーカーが Off の状態は作動しません。

2．カメラのリセット

カメラに電源を入れ、一番下の LED だけが点灯を始めた瞬間から、カメラ正面の“L ボタン”を押し続けます。約20秒後にスピーカーから、「ボヨヨーン」と音がでましたら、リセットの完了です。IP アドレスはカメラのシリアルナンバーに戻ります。

4).注意

1. IP アドレス設定時の注意

カメラに IP アドレスを設定するときは、同じネットワークに接続している他の機器の IP アドレスと同じ IP アドレスでないことを確認しておかなければなりません。同じ IP アドレスを使用してしまいますと、ネットワークそのものに障害を引き起こすことがあります。ネットワークの管理者に使用可能なアドレスを確認してください。

2. パスワード管理上の注意

MOBOTIXネットワークカメラは、アクセス制限をパスワードによって制限をかけています。万が一、他からの侵入でログイン名やパスワードを変更されてしまうと接続できなくなりますので、工場出荷時のユーザー名「admin」とパスワード「meinsm」は、必ず変更してください。MOBOTIXカメラへのログイン名とパスワードは暗号化されてカメラに記憶され、管理者(Admin)画面で変更しないかぎり変わることはありませんので、必ずメモをして厳重に保管してください。

ユーザー名とパスワードを忘れてしまいますと、ドイツにあるMOBOTIX本社のみでリセットをすることができます。従って、一度、ドイツに送らなければならないので、くれぐれもお忘れのないようにご注意下さい。

3. ソフトウェアアップデート更新時の注意

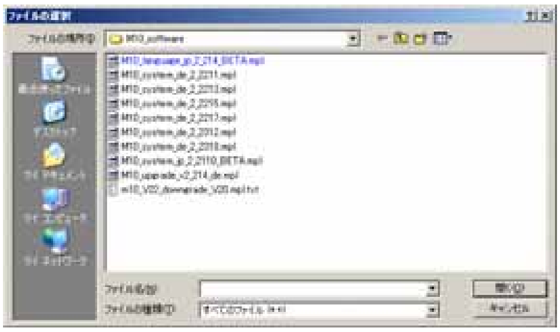
バージョンアップされたソフトウェアを、カメラに更新する場合、自分のコンピューターからネットワーク経由でソフトウェアを転送することができます。プログラム更新作業中には以下のことを必ず守ってください。

①プログラム転送中は、カメラやネットワークの電源を切らないこと
②コンピューターのブラウザ画面を閉じて、カメラとの接続をきらないこと
③プログラムを転送しているパソコンとカメラのネットワーク接続をきらないこと

プログラム更新中に①、②、③またはそれに類似する事故が生じますと、カメラの機能が失われ、以後使用できなくなります。

システムアップデートの設定方法 (Update System Software)

1. Admin Menu を開き、「system update」の「Update System Software」を開きます。
2. 参照... をクリックし、アップデートしたいカメラのソフトウェアを選びます。

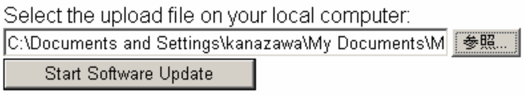


＊ カメラのソフトウェアは、MOBOTIX 及び MOBOTIX JAPAN のホームページより最新版をダウンロードできます。

MOBOTIX ： http://www.mobotix.com/jpn_JP/services/software_downloads

MOBOTIX JAPAN ： http://www.kjfellow.com/mobotix/MOBOTIX_JAPAN_software.html

＊ ダウンロードしたファイルの保存場所は、必ず「My Documents」などのアルファベット表記の場所に保存してください。



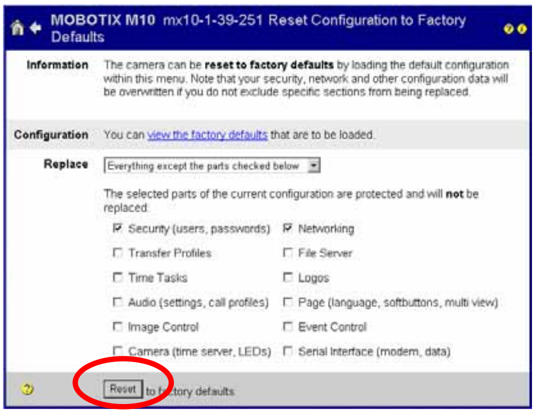
3. Start Software Update をクリックすると、自動的にソフトウェアアップデートが開始されます。アップデートが完了すると、カメラが再起動 (Reboot) を要求してきますので、Reboot Now をクリックし、再起動をします。

4.

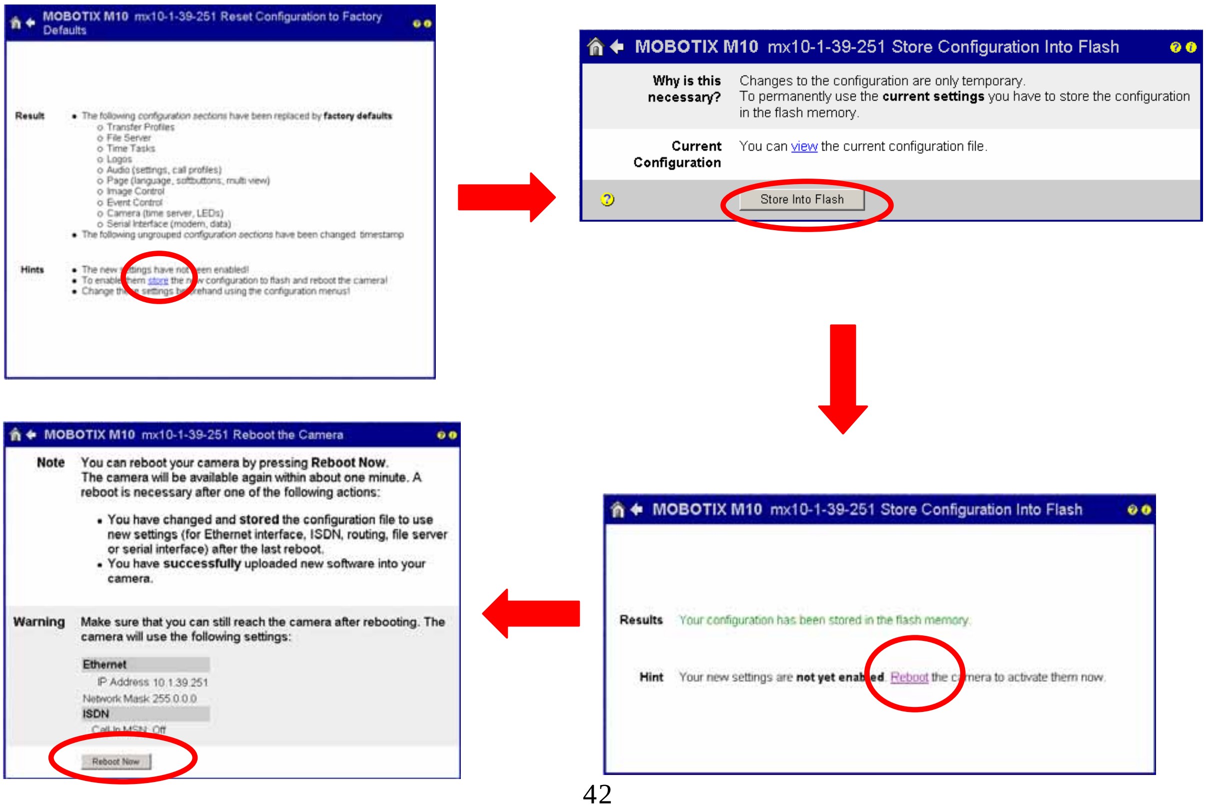
再起動後、カメラがソフトのアップデートを完全化するため、カメラの初期化を要求してきます。

OK をクリックします。

5. カメラのどこの設定部分を初期かするかを選択します。初期化したくない場所に、チェックマークを入れて、Reset をクリックします。



6. 初期化を Store(フラッシュに保存)し、カメラを再起動して終了です。



6）.その他

1．取扱説明書「Software Camera Manual」

カメラの詳しい設定方法は、取扱説明書「Software Camera Manual」に記載されております。
取扱説明書は、下記の URL で、無料でダウンロードできます。

http://www.klox.co.jp/mobotix/manual/

2．MxViewer

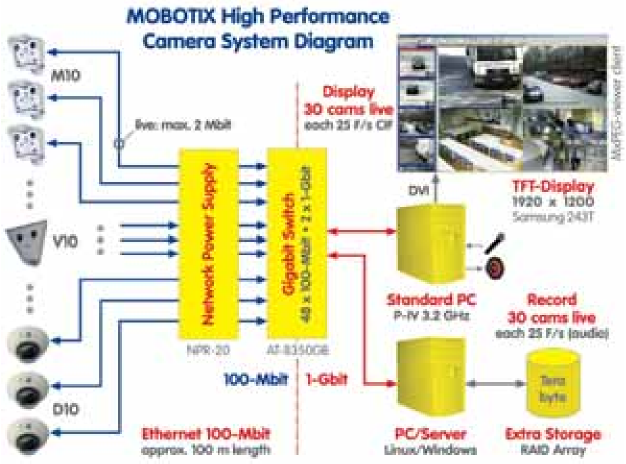
MxViewer とは、MOBOTIX 社が無償で提供しているビューワーソフトです。
MxViewer を使用して画像を表示すると、最大 30 カメラの映像を 25fps で表示することが可能になっております。マルチビュー/マップビューも自由に構成が可能になっています。また、ファイルサーバのアクセス画像表示、保存画像のバックアップ保存、MxPEG の JPEG 解凍、検索機能、アラーム機能も取り揃えたマルチビューワーソフトです。
MxViewer と、その取扱説明書は、下記の URL で、無料でダウンロードできます。

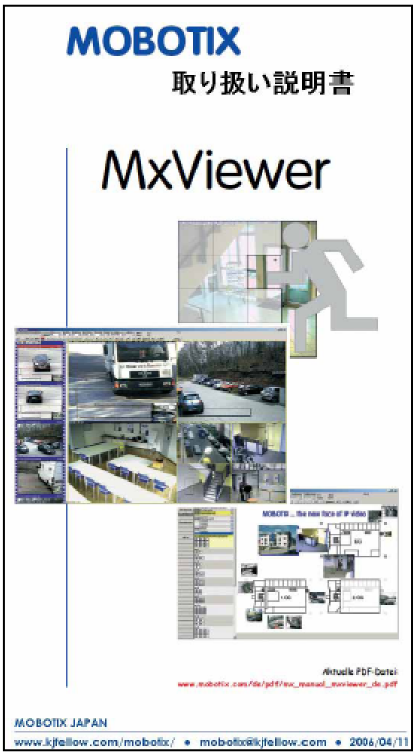
MxViewer のダウンロード

http://www.mobotix.com/jpn_JP/services/software_downloads
http://www.kjfellow.com/mobotix/MOBOTIX_JAPAN_software.html

MxViewer の取り扱い説明書

http://www.klox.co.jp/mobotix/manual/





メモ

メモ

メモ

発行元：MOBOTIX JAPAN

㈲K.J.フェロー

〒141-0032

東京都品川区大崎 3-6-4

トキワビル 7F

Tel: 03-3779-3371

Fax: 03-5437-1230

E-mail: mobotix@kjfellow.com

http://www.kjfellow.com/mobotix/

2006/10/06 第 3 版